

令和5年度
コミュニティ・スクール
学校支援ボランティア
実践報告集

学校・家庭・地域の対話と協働で拓く
「地域とともにある学校づくり」

令和6年3月
鈴鹿市教育委員会

目 次

平田野中学校	1
国府小学校	3
庄野小学校	4
明生小学校	6
創徳中学校	8
牧田小学校	10
飯野小学校	12
清和小学校	14
白鳥中学校	16
井田川小学校	18
石薬師小学校	20
加佐登小学校	22
神戸中学校	24
河曲小学校	26
神戸小学校	28
一ノ宮小学校	29
大木中学校	31
長太小学校	33
箕田小学校	35
千代崎中学校	37
若松小学校	39
玉垣小学校	41
愛宕小学校	42
白子中学校	44
稲生小学校	46
桜島小学校	48
旭が丘小学校	50
鼓ヶ浦中学校	52
白子小学校	54
鼓ヶ浦小学校	56
天栄中学校	57
天名小学校	59
合川小学校	61
栄小学校	63
郡山小学校	65
鈴峰中学校	67
深伊沢小学校	69
庄内小学校	71
椿小学校	73
鈴西小学校	75

◆ 平田野中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 地域との関わり

<地域との連携>

○学校運営協議会の取組

今年度は、新型コロナウイルスが5類となり、1年を通して全6回を予定通り実施した。

第2回は体育祭での生徒の様子を見ていただいた上で協議会を開く予定であったが、当日体育祭が雨天延期となり、まずは協議会を行い、翌日に時間の許す方に体育祭は参観いただいた。

協議会では、体育祭がコロナで過去3年間、「午前中のみ」「保護者参観なし」の開催だったが、今年度は「1日開催」「保護者参観OK」で開催すること、コロナ禍で形を変えて行われた様々な行事について、今年はすべてをもとに戻すのではなく、働き方改革の視点をもって行事の見直しを図りながら、もとに戻すところは戻すことが大切だと考えている旨を校長が説明し、協議会でも確認された。また、本校の危機管理マニュアルを提示し、今後の見直しについて意見交換を行った。

第3回は、生徒の様子(文化祭)を見ての意見や感想をいただく予定であったが、日程を変更し、平田野中学校区合同学校運営協議会を開催した。昨年度に引き続いて2度目の開催であったため、今年度はより良い形を目指して4校すべての委員の方々に参加を呼びかけ、沢山のご参加をいただいた。また生徒の授業参観を行ったうえで、学校運営協議会の先進的な取組について「小中合同による学校運営協議会の取組」と題して教育支援課の加藤先生にご講演いただいた。

第4回の際には、本校から全国学力・学習状況調査の分析とともに、本年度の関係者評価に係る本校の自己評価について説明・報告を行った。委員の方からは、教職員の働き方改革、子どもの不登校、子どもの学力について図書館の積極的な利用などいくつかの話題が出され、それぞれについて意見交換を行った。

第5回・第6回は、学校自己評価、学校関係者評価及び次年度に向けての話し合いを行い、特に学校関係者評価の際には、委員の皆さんから、様々な意見をいただいた。本校の経営方針を踏まえた上で、いじめに関する問題、教職員の勤務時間縮減といった喫緊の課題など様々な角度からの有益なご意見があり、非常に有意義な評価となった。次年度の学校経営に役立てていきたい。



2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・昨年度に引き続いて2度目の平田野中学校区合同学校運営協議会を開催した。参加者を4校の委員全員に広げ、授業参観と講演会を行った。各方面から好評を得た。
- ・委員である地域コーディネーターによる「平田野中学校コミュニティ・スクールだより」の発行によって、協議会の活動をよりよい形で広報、周知することができた。

(2) 課題

- ・今後も、教職員の総勤務時間の縮減の取組について、学校と地域との連携を深めていけるよう取り組んでいきたい。
- ・校区で、小中の連携を図り、校区全体で子どもを見守るという、より効果的な運営協議会として機能するように努めていきたい。



II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	10	学生	0	23
地域住民	12	その他	1	

2 主な活動内容

○図書ボランティア

昨年度から毎日開館の取組の提案・実施を行い、利用生徒数、貸出冊数ともに伸びている。地域コーディネーターの活躍により、組織的に昼休みの図書貸出が行われた。

○安心安全ボランティア

「ヘルメットをかぶろう運動」開催時には、自転車組合の方とともに保護者ボランティアが全校生徒の自転車点検を行った。

○学習支援ボランティア

夏休みの補充学習に地域ボランティアとして学習支援を行った。

◆ 国府小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

「まなび つながり のびる 国府の子」～地域とともに「生きる力」を育む学校～

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- 「漢検」「長期休業中の学習会」を実施することができた。学習会では、中学生や教員を志望する高校生を臨時の学習ボランティアとして募った。小学生に年齢の近い中高生のボランティアは好評だった。
- 中学校区合同学校運営協議会を行い、継続的に情報交換を行う機運を高めることができた。
- 学校の現状や課題、児童の様子をもとに、運営協議会として環境整備や必要な支援について話し合い、活動につなげることができた。
- ボランティア活動の運営を軸に熟議を積み重ねていくことができた。
- コミュニティ・スクールだよりを発行し、熟議・活動内容を保護者・地域に発信した。



冬の学習会の様子

(2) 課題

- 今後もボランティア活動を継続してすすめていくため、まちづくり協議会とも連携して、新規の人材確保に努めていきたい。
- コミュニティ・スクールのことを地域の方にもっと知ってもらうとともに、より学校運営に生かす取組を進めたい。



昇降口前の樹木の伐採作業

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	85	学生	0	242
地域住民	157	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア
(全学級に週一限以上の算数授業支援、ミシン等の実技指導、米・野菜作り等の学習支援、長期休業中の学習会・漢字検定運営 等)
- ・環境ボランティア (トイレ掃除の指導、児童奉仕作業の支援、除草 等)
- ・安全安心ボランティア (登下校の見守り、通学路危険性箇所等点検 等)
- ・図書ボランティア (読み聞かせ)

◆ 庄野小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

- 【第1回】学校経営方針、令和5年度の行事予定、配当予算、施設整備要望
- 【第2回】水泳見守りボランティア、危機管理マニュアル、あいさつが響き合う庄野活動、卒業式の服装
- 【第3回】平田野中学校区合同による学校運営協議会
- 【第4回】学校運営の進捗状況、いじめ防止、児童の登下校、あいさつが響き合う庄野活動、樹木剪定処理
- 【第5回】学校関係者評価、学校保健委員会、来年度の学校行事について
- 【第6回】今年度の取組の成果と課題、来年度の運営協議会の取組について

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校経営方針に基づき、学校の実情を共有し、学校運営についての意見交流を行うことができた。
- ・学校運営協議会の支援により、サツマイモの栽培、バケツ稲作、町たんけん、ホタルの学習等、地域との交流学习を行うことができた。



- ・水泳授業再開に合わせ、見守りボランティアを呼びかけた。ろ過機の急な破損により、他校での実施となったが、多くの大人が見守る中、安全面を重視して行うことができた。
- ・学校運営協議会だけでなく、まちづくり協議会、自治会等と連携しながら、通学路の危険箇所の改善や学校の環境整備に関して、継続して、関係機関に要望することで、安全面の整備に取り組むことができた。
- ・学校運営協議会委員がPTA奉仕作業に参加したり、日常の樹木剪定分の処理を継続して行ったりして、校内環境整備をすすめることができた。

(2) 課題

- ・学校運営協議会として取り組んでいることを、地域・保護者等に、より伝え

ていく必要がある。

- ・開催回数が限られている、年間を通して協働して取り組んでいく体制を整えていけるよう考えたい。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	6	学生	0	58
地域住民	52	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（校外学習の付き添い 等）
- ・環境ボランティア（草刈り、剪定処理 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通安全教室の支援 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ）



◆ 明生小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

- (1) 第1回学校運営協議会（開催）令和5年5月19日（金）
 - ・令和5年度学校経営の改革方針について
 - ・令和5年度学校配当予算について
 - ・学校関係者評価（本年度の活動と指標）について
 - ・令和5年度明生小学校学校運営協議会の取組について
- (2) 第2回学校運営協議会（開催）令和5年6月23日（金）
 - ・令和5年度明生小学校 学校運営協議会の取組について
 - ・学校支援ボランティアについて
 - ・授業参観
- (3) 第3回学校運営協議会（開催）令和5年8月25日（金）
 - ・学校支援についての今後の方向性
 - ・令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について
 - ・令和5年度明生小学校アンケート（前期）の結果について
 - ・明生小学校職員とのグループ討議
- (4) 平田野中学校区合同学校運営協議会
兼第4回学校運営協議会（開催）令和5年11月10日（金）
 - ・授業参観
 - ・講演「小中合同による学校運営協議会の取組」
 - ・グループ討議
- (5) 第5回学校運営協議会（開催）令和5年12月8日（金）
 - ・今後の学校支援について
 - ・学校関係者評価について
 - ・授業参観
- (6) 第6回学校運営協議会（開催）令和6年2月16日（金）
 - ・学校関係者評価について
 - ・来年度の学校支援について
 - ・令和6年度学校運営協議会日程について

2 取組の成果や課題

- (1) 成果
 - ・様々な活動がコロナ前と同じかたちで行われるようになってきて、学校が活気づいてきた。
 - ・たくさんの方との活動を通して、よい人間関係が構築されている。
 - ・明生小学校職員とのグループ討議を行うことができた。両者の思いや願いを再確認するよい機会をもつことができた。

(2) 課題

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止や縮小となった取組がある。
0からの出発と考えて、これからの時代にあった形での実施方法を検討していかなければならない。
- ・学校に関わってくれる人材を増やしていきたい。
- ・地域・学校・家庭の協働について議論するだけではなく、実行に移していけるようにしていかなければならない。

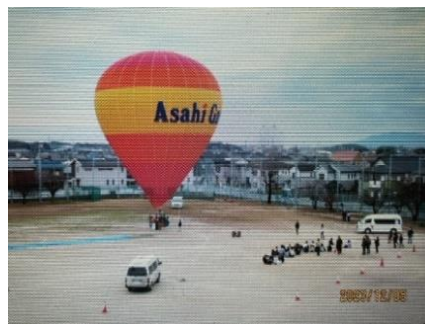
II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	215人	学生	0	328人
地域住民	113人	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（読み聞かせ、めいめい（国際）教室の支援、5・6年生の家庭科実習の支援、1・2年生を中心に日常的な学習の支援、昔の遊び・昔の生活についての学習の支援、4年生バルーン体験の計画・運営等）
- ・環境ボランティア（除草剪定、学級園整備、焼き芋会の計画・運営等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の付添い、交差点等危険箇所の警備等）



◆ 創徳中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

(1) 第1回学校運営協議会〔令和5年5月12日(金)〕

①本年度学校プロフィール、学校運営の改革方針、形成ビジョン、配当予算等について確認、及び承認。

②生徒の様子、本校の教育活動等について

(2) 第2回学校運営協議会〔令和5年7月14日(金)〕

①生徒の様子、本校の教育活動等について

②支援（合理的配慮）が必要な生徒の理解と対応について熟議

(3) 第3回学校運営協議会〔令和5年9月8日(金)〕

①生徒の様子、本校の教育活動等について

②学力向上について熟議(研修長、国語科代表、数学科代表、英語科代表より説明)

③教育委員会より

(4) 第4回校区拡大大学校運営協議会〔令和5年11月7日(火)〕

①グループ協議「子どもたちをとりまく現状と課題について～次期教育振興基本計画における主な取組からわたしたちにできること～」

②各グループからの発表

③教育委員会より

(5) 第5回学校運営協議会〔令和6年1月12日(金)〕

①「創徳中学校の通級指導教室の意義と役割」について熟議（通級指導教室担当より説明）

②教育委員会より

(6) 第6回学校運営協議会〔令和6年2月9日(金)〕

①生徒の様子、本校の教育活動等について

②学校評価等について説明を行う。



2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・第2回学校運営協議会で、研修長や教科代表より学力向上の取組について説明を行い、現状や課題等について活発な意見交換を行うことができた。また、校内の研究授業にも参加いただき、実際の授業の様子、子どもの実態を知っていただいた。
- ・第4回校区拡大大学校運営協議会では、さまざまな立場で今の子どもたちの現状や課題について話し合うことができた。
- ・第5回学校運営協議会にて、通級指導教室担当者より「通級指導教室の意義と役割」について説明を行い、個に応じた支援を教職員が連携して取り組んでいることを知っていただいた。

(2) 課題

- ・保護者、地域住民、学校（教職員）がコミュニティ・スクール推進に向けて、それぞれの役割や在り方について、学校運営協議会としてさらに啓発していく必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	0人	学生	0人	3人
地域住民	3人	その他	0人	

2 主な活動内容

- ・環境ボランティア（除草作業、校内の施設や備品の修繕 等）
- ・安全安心ボランティア（あいさつ運動、学校周辺での交通安全指導 等）



【環境ボランティアに修繕していただいた体育館の靴入れ】

◆ 牧田小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

(1) 「ノーメディア週間」の取組について

- ・これまで学校独自で設定していた「すいみんの日」を大切にしながら、校区全体で、適切な睡眠を妨げる大きな要因となっている SNS やゲーム等の使用について、指導を進める必要性を議論した。

(2) 学力の向上の取組について

- ・今年度より 4、5 年生を中心に県の事業を受けて習熟度別学習を実施して研修を深めている。授業改善や学調やみえスタの学力経年変化も含めた点について議論した。

(3) コロナ後における学校活動の再開と働き方改革について

- ・文科省も効果があったものについてはコロナ前の行事には戻さないとしているので、効果的な行事等の働き方改革も含め、勤務時間の縮減について議論した。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校の現状や課題について共通認識を持ち、どのように改善していくか、それぞれの立場で意見を交わすことができた。

(2) 課題

- ・コロナ禍で縮小・削減していた活動は最小限にしながら、地域や保護者に担っていただく部分も必要である。委員に児童の実態や学校環境をより知っていただくためにも、協議会の前部分に授業参観をしたり、牧田万博や児童集会等の行事を参観いただいたりするような働きかけも必要である。

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	20	学生	0	71
地域住民	50	その他	1	

2 主な活動内容

- ・ 学習支援ボランティア（宿題綴じ、校外学習の付添い）
- ・ 環境ボランティア（草刈り、学校周辺清掃、修繕）
- ・ 安全安心ボランティア（登下校の見守り）
- ・ 図書ボランティア（図書館の整備）



（図書室の壁面飾り）



（読み聞かせの様子）



（地域学習前川定五郎の出前授業）



（自然教室ウォークラリー補助）

◆ 飯野小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組（地域の人材を活かした学校運営協議会）

（1）学校経営構想の共有と学校関係者評価の充実

飯野小で長年受け継がれている「知」「愛」「命」「根っこ」の教育に基づき、様々な立場の委員から幅広く意見をいただき、すべての子どもたちに居場所をつくり、生きる意欲を育む学校づくりを推進した。

（2）脱コロナでの学校の在り方について

コロナが5類に分類され、コロナ禍にあった様々な教育活動の制限が少しずつ解除されていった。その中で新しい行事のあり方を模索し、様々な視点から議論を重ね、「With コロナ」も見据えた「地域とともにある学校づくり」を推進した。

（3）地域・保護者との関わりを深める取組

「家庭学習の充実」や「読書活動」の推進等のテーマで、地域・家庭と学校の連携の在り方や、メディアリテラシー・メディア活用等様々な課題について討議した。また、学習ボランティア活用やあいさつ運動・見守り運動等を行った。



（学校運営協議会の様子）

2 取組の成果や課題

（1）成果

- ・学習用端末の活用やいじめ防止に向けた取組・家庭学習の在り方等、具体的な課題について、地域・家庭・教育福祉関係等様々な立場から意見をいただき、学校運営に活かすことができた。
- ・地域にできること、家庭にできること、学校にできることについて学校評価をもとに活発に話し合うことができた。
- ・毎月2回のパトロール活動で児童の安全を見守り、ボランティアの協力を積極的に得たことで、日々の学習支援（プリントの丸付け等）や、新1年生のスムーズな学校生活のスタートへの支援、図工・家庭科等の支援、校外学習のための安全確保などができ、教育活動のより一層の充実を図ることができた。
- ・昨年度より、創徳中学校区で拡大学校運営協議会が開かれ、各校の委員で情報交換等を行うことができた。



（2年生町たんけんの補助）

（2）課題

- ・本校では学校支援ボランティアの活動が活発に行われており、教室での学習支援の他に、低学年の給食や掃除支援なども行われている。さらに

地域の方が草刈りに参加・協力もしていただき助かっている。しかし、草刈りや樹木の伐採などの支援をしていただいている方の高齢化もあって、協力をお願いできる人数が減っていることや、外国籍の児童に対する学習支援や生活に対する支援が必要な児童・家庭も多くあるが人材が足りていないという課題がある。そのようなことから、地域と学校の窓口として、コミュニティ・スクールが中心となる必要がある。そして、協力していただける人材を、アンテナを高くして継続的に探していきたい。

- ・学校運営協議会で議論されたことは、学校だより等で家庭や地域へタイムリーに発信しているが、地域・家庭の子どもたちの健全育成や教育活動にさらに関心を高めてもらいたいと考えている。地域ぐるみでの教育活動を推進していくためには、学校運営協議会からの発信をさらに充実していく必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	12	学生	1	39
地域住民	26	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け、ミシン、校外学習の付き添い 等）
- ・環境ボランティア（草刈り、備品等の修繕 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通安全教室の支援 等）
- ・読み聞かせボランティア（毎週木曜日を基本に本の読み聞かせ実施）
- ・図書ボランティア（図書室の整備・本の修繕 等）



◆ 清和小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 「清和の子 守り育てる地域の力」～学校運営協議会の取組～

(1) 学校運営に係る助言・支援について

学校経営の改革方針・予算、学校関係者評価等について学校が示したことをもとに、吟味、助言をいただいた。特に、学校で懸案になっていた樹木剪定等について、学校予算をもとにどのように進めていけばよいか積極的な助言をいただいた。

(2) 環境整備について

地域の方と栽培委員会の児童と一緒に、花壇の整備を行った。また、清和の森や学級園近くの落ち葉拾い、プール周りや学級園付近をはじめとする学校敷地内の除草作業等を行っていただき、環境整備にご尽力いただいた。さらには、集めた落ち葉や草木を運搬するためにトラックを出していただき、清掃センターまで運んでいただいた。

(3) 地域連携の取組（地域学習）について

昨年度の市政 80 周年事業をきっかけに、10 個のテーマで 5 年生を対象に地域学習を実施した。昨年度の取組を踏まえ、地域が伝えたいこと、子どもたちが知りたいことをすり合わせながら、清和小学区の「地域活性化の活動」や「地域の歴史」等を知ることにより、地域への愛着心を育むことを目的として、本年度の実施に向け検討を重ねていただいた。また、講師の選定、依頼に当たっては学校運営協議会委員にご尽力いただき、テーマによっては委員に講師を務めていただいた。

事前の打ち合わせ等を経て 11 月 2 日に実施し、5 年生児童が参加した。また、5 年生児童は学習内容をもとにプレゼン資料を作成し、学習の成果を 4 年生の前で発表した。



2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校関係者評価に関わり、学校の教育活動については、継続すること、見直すこと、それぞれに対し忌憚のない意見をいただき、来年度の構想につなげることができた。
- ・学校環境整備に御尽力いただいたことで、子どもたちの生活環境が良くなり、職員の作業が減り、職員の業務削減につながった。
- ・地域学習では、地域を教材として、地域のことをよく知るとともに、地域の方々と繋がりをもつことができた。また、4 年生に発表する機会をもつことで学びを反芻するとともに、地域への愛着心を育む一つの機会とすることができた。

(2) 課題

- ・環境ボランティアに関わる方の年齢が高くなっており、継続的に環境整備をすすめていくために、PTA 等と連携を進める必要がある。学校運営協議会構成メンバーに PTA 役員もふくまれることから、連携に向け協議していきたい。
- ・学校活動への評価、助言、支援を受けるために学校として、発信の仕方の工夫、伝わりやすい資料の提示に心掛ける必要がある。
- ・地域学習が 2 年間実施されたことになるが、継続的で効果的な取組となるよう、カリキュラムマネジメントの実現により、教育課程の中に根付かせていく必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	28	学生	0	102
地域住民	72	その他	2	

2 主な活動内容

- ◆読み聞かせ
 - ・保護者地域の方が読み聞かせを行っている。
 - ・毎週木曜日 8:20～8:30 に各クラスで実施。
 - ・今年度は年間を通して実施することができた。
- ◆1年生の給食支援
 - ・4月の1年生給食の配膳や牛乳パックの片付け等のお手伝いをいただいた。
- ◆学習支援
 - ・教科では家庭（ミシン・調理実習）、図工（電動のこぎり）、生活（学校探検・校区探検）、社会科の田植えなどの支援・見守りに入っていただいた。
 - ・日本語指導教室でもボランティアの方が児童支援に入っていただいた。
- ◆クラブ活動支援
 - ・ハンドクラフト・茶道で活動していただき、教員ではできない指導をしていただいた。
- ◆環境整備支援
 - ・学校園の整備、苗植えの指導など行っていただいた。また、学校敷地内の除草作業や落ち葉拾いなども行っていただいた。学校施設の修繕活動に尽力いただいた方もいて、児童の学習環境が快適になった。
- ◆下校支援
 - ・交差点などに立って登下校の見守りをしていただいた。

◆ 白鳥中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 白鳥中学校の教育活動の充実をめざして（学校運営協議会の取組）

令和5年度はコロナ禍を経て、普段通りの活動がほぼできるようになり、学校運営協議会も通常開催を予定、企画した。「子どもたちの教育活動を止めずにさらに充実をさせていきたい」という視点を忘れずに委員の方たちからは活発な協議を進めていただくことができた。

各回の主な議題や内容は以下の通りである。

第1回【6月1日(木)開催】

- ・白鳥中学校経営方針等について
- ・本年度の学校運営協議会について

第2回【7月4日(火)開催】

- ・生徒の登校風景や1限目の授業の様子の参観
- ・生徒指導の取組
- ・総勤務時間の縮減について

第3回【9月28日(木)開催】

→四日市で強盗事件が発生し、犯人が逃亡中のため、学校運営協議会を中止し、文書開催としました。

- ・「学力向上」「授業の質の向上」の取組について

第4回【10月26日(木)開催】

- ・文化祭の展示見学と授業見学
- ・生徒会活動について

第5回【11月30日(木)開催】

- ・「特別支援教育」「不登校生徒を生まない取組」について

第6回【2月1日(木)開催】

- ・学校関係者評価について

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・本校の生徒指導、特別支援教育、不登校生徒支援、生徒会活動等について学校の取組を委員に伝えることができ、理解を得られた。
- ・登校や朝の会など生徒の様子を直接見ていただくことができ委員から率直な感想や意見をいただいた。
- ・文化祭展示を観覧し、生徒それぞれの個性が発揮されている作品を見てもらい、「感動した」という感想をいただいた。
- ・教育指導課から、部活動の地域移行についての進捗状況を説明してもらい、情報共有ができた。

(2) 課題

- ・生徒の作品を実際に見てもらうことについて好評であったため、今後委員と生徒が直に交流できる場の設定をしていきたい。

- ・交通マナーの悪さについては継続的な課題である。教員が交通指導をしている時は交通マナー（ルール）を守るが、教員がいない時のマナーの悪さに、地域は困っている。今後、地域や保護者（PTA 等）を巻き込んで、連携して生徒指導をする体制づくりを充実させていきたい。
- ・生徒（中学生）に地域の一員としての自覚を促すためにも、地域の行事や、地域で開催される避難訓練などに参加できる体制を整備していきたい。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	3	学生	0	9
地域住民	2	その他	4	

2 主な活動内容

- ・部活動指導
→バスケットボール男子、ソフトテニス女子、ソフトボール
卓球部女子（部活動指導員）
- ・図書館ボランティア
- ・登下校の見守り

◆ 井田川小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

(1) 教育課題改善のための熟議

今年度は、年間5回実施し、できる限り委員の方々に直接児童の様子を見ていただいた上で、本校の学校経営方針や教育活動のあり方等について熟議を行った。また、家庭学習やスクリーンタイム等の諸課題を共有し、ノーメディアデー等、学校での取組に反映した。さらに、本校児童の課題である学力向上、基本的生活習慣、自己肯定感の向上、働き方改革等について現状を伝え、地域や保護者の立場で何ができるかを協議した。

(2) 地域の特色を生かした取組についての協議

子どもたちが地域の方々から大切にされているという思いを感じることに、地域を愛する子どもたちになってほしいとの願いを持ち、マイタウン井田川まちづくり委員会との連携を図る中で、地域の特色を生かした取組について協議した。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・授業参観等により、直接児童の姿を見ていただくことで、児童の姿を基にした具体的な協議を行うことができた。また、学校・家庭・地域が協働し、児童を育てるという意識を共有することができた。

(2) 課題

- ・めざす子ども像の実現に向け、学校運営協議会とさらなる連携・協働を行い、熟議を重ね、保護者・地域とともにある学校づくりの推進のため、何ができるかを模索していく必要がある。

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	7	学生	1	130
地域住民	122	その他	0	

2 主な活動内容

(1) 学習支援ボランティア

①生活科・総合的な学習の時間のボランティア

本校は地域を舞台に、各教科の連携を密にした生活科や総合的な学習の時間の学習を行っており、地域の方々にゲストティーチャーとして授業に参加していただいている。

- 全学年 鯉のぼりの製作
(マイタウン井田川まちづくり委員会)
- 1年 昔の遊び(老人会)
- 1・2年 野菜づくり(農業委員, J A職員)
- 1・2年 連れ去り防止訓練(青パト等)
- 2年 井田川公民館の見学・お話
- 3年 消防団員のお話
- 4年 ゴーヤーづくり(農業委員)
井田川地区の水害の話(元消防団員)
- 4～6年 井田川の未来について考えよう
(マイタウン井田川まちづくり委員会)



朝の読み聞かせ

②図書館ボランティア

図書館ボランティアは、週に1回、図書担当や学校巡回図書指導員と連携しながら、掲示物づくり等の環境整備や図書館祭り等の準備をしていただいた。

それが、子どもたちの読書活動への興味づけにつながった。また、読み聞かせボランティアの方に、月1回朝の会の時間に読み聞かせを行っていただいている。

(2) 環境整備ボランティア(運動場の除草 延べ65名)

6月、8月、9月に3回運動場の除草作業をしていただいた。本校は、雑草が大変生えやすく、教職員や児童だけでは除草することができず、自治会長をはじめとする地域の方々には大変助けていただいている。

(3) 安全安心ボランティア(見守り隊)

自治会長、民生・児童委員や井田川まちづくり見守り隊の方々に、登下校時に通学路の主要交差点で見守り活動やあいさつ運動を行っていただいている。また、下校時には、青色パトロール認証を受けた方々に、見守り活動を児童が最後の一人になるまでしていただいている。



3 今後の課題

学校支援ボランティアの方には、お礼の手紙とともに児童が製作した版画入りカレンダーをお渡しし、感謝の気持ちを伝えた。学校支援ボランティアの方々がどんな願いや思いを持って、子どもたちにあたたかく接して下さっているのかを、子どもたちに気づかせていくことが課題である。

また、地域人材を活用した授業を教育課程に位置づけることで、児童が社会とつながり、よりよい社会と幸せな人生を自ら創り出していく力を育てていきたいと考えている。

◆ 石薬師小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

学校長が作成した学校経営の改革方針を承認し、その実効性が高められるよう、協議会として取組を進めた。会議の前には準備会を開催し、委員長と学校長、出席できる委員で集まり、会議での論点を明確にするよう努めた。

また、年間6回の会議を計画し、うち1回は委員と教職員との懇談会を実施した。特にテーマを設けずに協議し、教職員の働き方改革やアフターコロナの学校の様子、ボランティアについて、課題の共有を図ることができた。

さらに、学校や児童の様子を参観する機会を3回設け、児童の成長の様子を実感することができた。昨年度に引き続き、代表委員会児童との懇談も行い、楽しめる行事の実施やエアコン設置、雨漏り修繕、水はけ改善等の学校環境、交通安全等が話題になった。

これらの他に、協議では、通学路の安全や児童の学力向上、学校環境、授業中の児童の様子等について意見交換を行った。こういった参観や会議での協議をもとに学校関係者評価を実施した。学校保健委員会にも委員が参加し、学校における健康の問題を協議した。今年度も引き続き、委員3名が「石薬師小学校区パトロール隊」として「青色防犯パトロール」登録をして登下校の見守りも行っている。数年ぶりに給食試食会を行い、食育について考えた。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・ 形だけではない、熱心な議論をすることができた。解決までは難しいかもしれないが、議論することに意味があるように思う。
- ・ 代表委員会児童との懇談会で意見を聞くことができてよかった。
- ・ 年間3回の授業参観で通常の授業参観とは違う子どもの姿が見られた。数年前、大変だった学年の児童の落ち着きを感じられた。
- ・ ボランティアで入っていただいている方々の力がとても大きく、委員として感謝している。

(2) 課題

- ・ ボランティアが年々減っている中、また、現状、ボランティアなしでは難しい学習内容もある中、地域COにどこまで担ってもらえるのかを、運営協議会としても考えていかななくてはならない。
- ・ PTAとして取り組めることが明確になった頃には役員の交代時期が近づき、引き継ぐという繰り返しになってしまっている。
- ・ 1クラスの数が多い中、教職員の大変さを実感した。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	4	学生	4	102
地域住民	94	その他	0	

2 主な活動内容

- ・ 学習支援ボランティア（ミシン、電動のこぎり、校外学習付き添い、信綱カルタ、信綱紙芝居、稲刈り、短歌朗唱、水泳着替え、墨彩画、昔のくらし、昔の遊び）
- ・ 図書ボランティア（読み聞かせ）
- ・ 環境ボランティア（剪定、修繕）
- ・ 安全安心ボランティア（登下校見守り）



昔の遊び



稲刈り体験学習



信綱紙芝居



短歌朗唱

◆ 加佐登小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の提言を受けた学校改善案づくり

学校運営協議会で承認された「学校経営の基本方針」に基づいて学校運営を進めてきた。学校運営協議会では、学校の現状を把握し進捗状況を検討してもらうために授業や児童の様子をみてもらう機会を何度か設けその都度成果や課題となることを協議していただいた。また、3学期は児童・保護者アンケートの結果から1年間の取組の検証を行い、次年度に向けた改善案につなげることができた。

【次年度に向けて】

- ・中学校区の学校運営協議会と連携し、「子どもの安心・安全」をテーマとして他校と情報共有・情報交換を行い、本校の安心安全をより高めていく。
- ・ICT活用においては一定の成果を得られたので、効果的な使い方を検討していく。
- ・子ども自身が考えて行動できる場面を設定した避難訓練を行う。
- ・学習ボランティアに参加できる方が減ってきているため、登録者を増やすよう募集案内に活動内容の例を載せる等募集の仕方を工夫していく。
- ・現在行っている田んぼ活動などや昔の遊び・暮らし体験等の取組を活かして地域との結びつきを継続していく。

2 まちづくり協議会青少年育成部との連携

(1) 取組内容

学年	主な取組、連携内容
1年	昔の遊び体験
3年	昔の暮らし学習、あられ煎り体験
5年	田んぼ活動（田植え、稲刈り、米の袋詰め）
委員会	福祉委員会（花植え）
イベント企画	星のおはなし 子ども体験教室（ガラスフュージング、バレトン） 青色パトカーに乗ってみよう



【学校運営協議会委員による授業参観】



【田んぼ活動】



【昔の暮らしの紹介】



【昔の遊び体験】

(2) 取組の成果と課題

①成果

- ・「子どもは地域の宝」と思っているまちづくり協議会の方々は、田んぼ活動や昔の生活体験など、子ども達が実際に体験することを大切に、教材の準備や触れ合いの場面を設定してくださっている。また継続して取り組んでいただいているので、昨年お世話になった児童が「今年も来てくれたんだね」と声をかけて交流をする場面もある。温かさを子どもが感じながら過ごすことができる時間となっている。
- ・地域の方に学校に来ていただくことで、学校の様子や子どもたちの実態を知っていただくことができた。

②課題

- ・働いている方が増え、学習ボランティアに登録していただいても参加できないことが多い。そのため、具体的な活動を示したり、年間計画を提示したりして登録者を増やす工夫が必要である。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	20	学生	0	94
地域住民	74	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア
(家庭科のミシン、調理実習、校外学習、クラブ、委員会)
- ・環境ボランティア (草刈り、樹木の剪定)
- ・安全安心ボランティア (登下校の見守り、地域の安全パトロール)
- ・図書ボランティア (読み聞かせ、本の修繕、図書室の環境整備)



【家庭実習】

【登下校見守りと
あいさつ運動】



【委員会】

【校外学習】



◆ 神戸中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 地域とともにある学校づくりに向けた基本方針

(1) 学校経営方針への位置づけ

学校と地域との連携について、学校経営方針に明確に位置付けることとし、「学校と地域との連携」を「重点取組事項」の一つに位置付け、学校運営協議会委員による学校関係者評価の対象とするなど、学校と地域との連携の充実強化についてこれまで以上に重要性を明確にした。

(2) 学校運営協議会の取組

① 委員構成

学校運営協議会委員推薦について学校運営協議会委員長と相談し、「重点取組事項」の推進に知見や専門性のある方で学校や地域との関係性が高い方を加え、学校運営の強みを生み出すことが期待できる委員構成とした。

② 課題改善状況の定期的報告

前年度学校関係者評価での指摘や意見等の改善状況等を定期的に示し、学校運営協議会での協議を反映させた改善に努めた。

③ 神中ステップアップ・スクール参観

本校では神戸高等学校の協力を得て、高校生がボランティアとして中学生の学習支援を行う機会を夏季休業中や12月頃の土曜日に土曜スクールとして年間4回行っている。その様子を学校運営協議会委員が参観した。



④ 生徒会役員との意見交換会

生徒の実際の声に触れていただく機会として、学校運営協議会委員と生徒会役員との意見交換会を実施した。



⑤ 学校教育活動への協力

学校運営協議会委員には、通学路冠水等危険箇所監視モニター、通学路危険箇所点検、不審者情報への対応などを担っていただいている。

(3) 中学校区学校運営協議会の組織化

① 代表者会

校区各小中学校校長と学校運営協議会委員長とで構成し、校区学校運営協議会の在り方や校区としての課題改善の方針等の検討を行った。

② 全体会（11月14日）

校区小中学校運営協議会全委員で構成し、「あいさつ・交通安全・家庭学習・子どものネットモラル」の4つのテーマに分かれグループワークを行い、各小中学校の現状や取組等について情報共有を図った。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校運営協議会の機能強化を図ったことで、多様な視点からの意見が出て協議が活発になり、学校教育活動への共通理解が深まったと捉えている。
- ・学校運営協議会委員と生徒会との交流会は、お互いにとって「みんなが来たい・楽しいと思える学校」を考える良い機会となった。

(2) 課題

- ・教育課題を中心に活発な協議が進んだことで、特色ある学校づくりや協議を反映した課題改善を進めることが、なかなか困難な実態として受け止められていると考えられる。
- ・地域・保護者・校区の小学校を巻き込みながら進めることで、つながりをより強固なものにしていく必要がある。来年度は、地域・保護者・校区の小学校と連携した引き渡し訓練を実施したい。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	71	学生	39	156
地域住民	46	その他	0	

2 主な活動内容

- ・登下校安全指導、除草等環境美化整備、校内のワックスがけ、部活動指導補助、学習支援に、高校生、保護者や地域の方に御協力いただいている。



◆ 河曲小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

(1) 学校の経営方針と課題改善に向けての協議

- ・本年度の学校経営方針と重点目標について
- ・学力向上の取組について
- ・校区の危険箇所点検、学校敷地内の防犯対策について
- ・自主財源確保のためのバザーの開催について
- ・学校運営協議会主催「未来の体育館」のポスターを募集
- ・年間行事予定について
- ・学校運営協議会の年間活動計画について
- ・学校アンケート結果と学校関係者評価について
- ・体育館新設に関する説明

(2) 環境整備の取組

- ・例年、河曲地区地域づくり協議会の方による、年4回の除草作業を実施してもらっている。本年度より PTA も一緒に活動を行い、児童も参加をしていた。

(3) 学校運営協議会のPRと地域へ働きかける取組

- ・夏休みのラジオ体操会（7/29、8/5） ※今年度で9回目



毎年参加者も増えて充実した取組となってきた。2日間の合計は昨年度を上回る参加者となった。



取組の成果や課題

(1) 成果

- ・自治会関係者、地域関係者、保護者目線での率直な意見が出され、学校運営に関する内容や学校の課題解決に向けての内容について熟議し、活発な意見交換ができた。
- ・河曲地区地域づくり協議会の協力のもと、環境整備の面で大きな支援が得られており、今年度は PTA も参加となったことで連携が進んだ。
- ・神戸中学校区での取組も少しずつ充実し、中学校区での運営協議会も開催された。それぞれの学校の様子や取組について活発な意見交換が行われた。

(2) 課題

- ・子どもに関する課題解決のためには、家庭の教育力の向上が重要になる。家庭学習習慣の確立、あいさつ、ありがとうが言える子を育てていきたい。



Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	34	学生	2	94
地域住民	58	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（家庭科・図工・生活科支援、校外学習の付き添い等）
- ・環境ボランティア（草刈り、備品等の修繕 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通安全教室の支援 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ、本の修繕 等）
- ・ボランティア募集のチラシを地域コーディネーターが作成し、支援について地域や保護者に呼びかけを行った。

○学習支援ボランティア

- ・総合的な学習の時間「米づくり」の指導（5年生）（田植え、稲刈り、収穫祭を行った。）
- ・大学生による学習補助（各学年）、ほっとルームでの不登校傾向児童の支援、児童の見守り
- ・総合的な学習の時間での地域を知るための人権教育センターや地域の商業施設への引率ボランティア（3年生）
- ・生活科の引率・風あげなどの学習補助（1年生、2年生）（保護者も参加）

○環境整備ボランティア

- ・学校庭園の除草、樹木の伐採・剪定

○安全安心ボランティア

- ・河曲パトロール隊による登下校時の見守り
- ・あいさつ運動（月1回）
- ・青パトでの校区内巡回
- ・運動会・授業参観時の駐車場誘導

○図書ボランティア

- ・学校図書館整備（本の修理・書架の整理）
- ・読み聞かせボランティア

3 取組の成果や課題

縮小規模にあった活動もコロナ渦前に近い形で行われるようになってきた。その中でボランティア活動がただの支援ではなく、「元気」を与え合え、学校の教育活動を理解する上でとても重要であることを感じている。今後も互いの理解と協力を大切にしていきたい。

**河曲小学校の2年生、3年生と
お散歩しませんか？**

河曲小学校では、2学期が始まり、間もなく、2年生、3年生による「町たんけん」が始まります。子どもたちが安全・安心な体験をするために、見守りの協力をお願いします。

2年生「もっと知りたがり」たんぽぽ隊
 9月27日(水) 9:00～11:00 予備日: 9月29日(金)..
 十宮方面 神戸郵便局..
 10月4日(水) 9:00～11:00 予備日: 10月11日(水)..
 竹野・野辺方面 野辺公園

3年生「スーパーマーケットの見学～スーパー名門～」
 9月19日(火) 9:00～11:30..
 スーパー名門神戸店(神戸二丁目10-3)及び神戸の町

★ お断りしたいこと

① 道路を歩く際の安全確保、見学・体験先での見守りをお願いします。
 事前に、歩き方や見守りでのマナーなどを学習していきますが、担任が先頭を歩きますので、列の真ん中、あたりや最後尾と一緒に歩いていただき、歩き方や交差点・踏切等の横断など安全確認をお願いします。
 また、2年生は、見学場所へグループごとに入っている間は、残りの待っているグループは待機場所にて待ちます。その間の子どもたちの見守り等をよろしくお願いします。3年生は、各グループに分かれて、店内見学やお客席イングリッシュ、神戸の町の散策などを行いますので、見守り等をよろしくお願いします。

② 学校出発9:00ごろを予定しています。
 2、3年生の各乗降口を出たあたりに集合してから出発しますので、
 8:55までにお集まりください。ボランティアの方を御介してから出発します。
 (当日の天候がはっきりしない場合は、学校から連絡させていただきます。また、急な欠席の時も早めにご連絡ください。)

※ 御協力をいただける場合は、
2年生内羽、3年生六谷までご連絡ください。
連絡先 059-382-0268

I コミュニティ・スクールの実践について

○委員の方々との情報共有

- ・登校中の児童の様子、児童の姿等に関する意見を委員の方々からいただき、学校での指導に活かすことができた。
- ・今年度も中学校区で合同の学校運営協議会を開催し、校区の現状把握、情報共有ができた。

(1) 成果

- ・児童の登下校について、安全安心のための情報共有を継続している。また、昨年度より引き続き自治会と PTA 役員がつながりを持つ機会を設け、今後の在り方について話し合うことができた。
- ・地域コーディネーターの働きかけにより、図書ボランティア、学習支援ボランティアの登録数をふやすことができ、児童の活動に活用することができた。

- ・短い時間の中で効果的に議論を深める方法を考える必要がある。
- ・新たな取組やまちづくり協議会との連携も一層深めたい。

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	4	学生	0	12
地域住民	8	その他	0	

・学習支援ボランティア

- 〔 家庭科：ミシン、調理実習の補助 図工：電動のこぎり使用の補助
校外学習の付き添い
・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
・図書ボランティア（読み聞かせ、本の修繕、図書室の環境改善） 〕

◆ 一ノ宮小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

〈「学校経営の改革方針」の承認〉

- ・今年度の行動計画における重点事項を説明し、承認を得た。

〈委員による授業参観 11/8〉

感染症拡大防止のため中止

〈中学校区学校運営協議会全体会〉

- ・「あいさつ」「交通安全」「家庭学習」「子どものネットモラル」の4つのテーマでそれぞれの学校の様子や課題や取組などについて情報交換を行った。交流する中で本校児童のよさや課題も明らかになった。また中学校区で共通に取り組むことの大切さを改めて感じた。

〈情報交換〉

- ・時々遅刻をして一人歩いている児童を通学路で見ることがある。地域としてなにかできることはないかと思うがなかなか難しい。
- ・校庭の草取りを PTA 主催で2回行い地域の方にもたくさん手伝ってもらった。保護者とともに子どもも参加し、自分たちの学校をきれいにするとともに多くの人が支援してもらっていることを知る機会にもなった。
- ・学校がどんなことを望んでいるのか先生と話し合いをする場を持ちたい。そういう中で地域ができることが見つかるのではないか。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校として「日本一あいさつする学校」を掲げ取り組んでいるため、地域や保護者の方にも浸透してきたようである。休みの日や卒業した児童からもあいさつが返ってくるという声も聞いている。あいさつ運動の成果が出てきていると思う。
- ・授業で体験活動も多く行うようになったため、単発のボランティアを募集し、参加してもらえることもあった。このことをきっかけにボランティアのつながりを大切にしていきたい。

(2) 課題

- ・学校運営協議会の中で話題になったこと（課題等）について、学校での対応や取組、その変容等を学校運営協議会に報告する。
- ・学校運営協議会のメンバーの構成も若い世代を取り入れるようにしていく必要がある。
- ・地域の方、保護者、学校とともに教育活動をそれぞれの立場から行っていくことは大切。今後も協議会が地域や保護者に意見具申をしたり、教育活動をサポートしたりして、さらなる取組の企画・実施を行えるようにしたい。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	9	学生	1	26
地域住民	16	その他	0	

2 主な活動内容

(1) 学習ボランティア

- ・算数中心に授業支援
- ・日本語教室支援
- ・課外学習（校区探検・地域の施設等の見学）の付き添い・見守り
- ・家庭科（調理実習や裁縫・ミシン作業の支援）

(2) 読書活動支援ボランティア

- ・図書室の掲示や書架の整理整頓

(3) パトロールボランティア

- ・登下校の付き添い 交通指導
- ・あいさつ運動



◆ 大木中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

「学校運営協議会と学校のかかわりについて」

～子どもの成長のために、学校・保護者・地域ができること～

校区合同学校運営協議会は今年で6年目となり、校区の課題について委員との話し合いを重ねている。本年度は、6回の学校運営協議会をとおして、学校内と家庭・地域、あるいは鈴鹿市全体から眺めた学校現場や子どもたちの現状、今後の見通しについて、それぞれの立場で還流するとともに、理解を深めた。

今年度の学校運営協議会の話題としては、「部活動地域移行・外部指導者募集」「新校舎図書館の活用」「校則の見直し」「家庭学習（読書）の充実に向けた地域連携」など、新たな環境となった学校における教育活動等について、活発に討議された。

新校舎図書館の活用については、地域コーディネーターが中心に企画立案し、図書館開放委員会を立ち上げた。図書館開放ボランティアを募り、地域の協力を得ながら、開放試行を経て、12月24日（日）から図書館開放をスタートした。

11月の校区合同学校運営協議会では、教育支援課から講師を招き、「すべての子どもが、互いにちがいを認め合い、共に生きる社会を築いていくために」というテーマで、外国につながる鈴鹿の子どもたちや校区の現状、日本語教育について学習会を行った。すべての子どもたちのために、地域に開かれた学校、地域と協働できる学校を目指し、学校と地域でできることを考えていきたい。



校区合同学校運営協議会の様子



環境ボランティア（引越し作業）



図書ボランティア活動の様子



新図書館の掲示物

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・合同学校運営協議会では、外国につながりのある子どもや保護者について、本市や校区の状況について具体的に知ることができた。「すべての子どもたち」について認識を新たにするよいきっかけとなった。
- ・新図書館の開館準備や運営に、図書ボランティアの活動が大変大きな力となった。また、図書館開放委員会が組織されるとともに、図書館開放ボランティアの支援の仕組みも作られ、新図書館の地域開放が早々にスタートした（今年度の開放6回）。

(2) 課題

- ・教職員の働き方改革については、部活動の運営や業務の見直しを図るために地域人材の活用を試みているが、確保が非常に難しい現状である。

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	98	学生	20	238
地域住民	120	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（学習支援、家庭科実習ミシン 等）
- ・環境ボランティア（引越し作業、除草、草刈り、修繕 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通整理の支援 等）
- ・図書ボランティア（本のフィルムコート、書架整頓、掲示物の作成、図書館移転作業 等）
- ・図書館開放ボランティア（図書館の管理、本の貸出 等）
- ・部活動支援ボランティア（技術指導、練習の見守り）

◆ 長太小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

(1) 学校経営方針について

第1回学校運営協議会において、学校長から長太小学校の学校経営方針について概要を説明し、本校のめざす学校像や達成方策に対してのご意見をいただいた。

学力向上については、「みんなで授業をつくる～自分の考えをもち、自分の言葉で伝え合い、ともに学び続ける子～」の育成に向けて、そのねらいや必要性を説明し、取組内容の承認を得るとともに、児童の実態や課題、目指す子ども像について共有を図った。

(2) 長期休業中の児童の預かり事業（1～3年生対象 14日間）

夏休みに児童が安心して過ごせる居場所づくりとして、まちづくり協議会が、学校の空き教室を使用した「子ども預かり事業」を行った。昨年度スタートして、2回目の事業であったが、地域の方々の協力を仰ぎ、たくさんの方に支援員として参加していただいた。また、児童は1～3年生の6名が参加した。

(3) 地域行事への参加

新型コロナウイルス感染症の影響で数年間中止となっていた地域の行事が本格的に再開した。

<みまもりたい総会 運動会 灯籠展示会 不思議なコンロ（防災）
長太公民館町民文化祭 長太マルシェ等>

(4) 教職員と学校運営協議会の交流

8月24日に実施した第3回学校運営協議会では、教職員と学校運営協議会委員がテーマ別に話し合いをした。課題別にA、B、C3つのグループに分かれ、それぞれの立場から意見交流を行い、学校の取組や課題の共有と今後の教育活動についての方策を話し合った。

A：「いじめや差別をなくし、子どもたち の人権意識を高めるために」

B：「安全な登下校について」

C：「みえスタディ・チェック、全国学力・学習状況調査からみられた
長太小児童の強み・弱みについて」

【グループ討議で出された主な意見】

- ・学校で綴り方を通して自分の気持ちの言語化に取り組んでいる。
- ・自分の思いを伝えなと言っても伝えられない。綴りも書けない子はいる。多分・・・をつけてこちらが想像して代弁したり、言ったことを代わりに書いたりすることで自分の気持ちを言語化する力を育成している。
- ・ヘルメット：後ろに流してつけている子。被り方の確認。大きさの確認。努力義務。大人がつけている姿を地域で見せていく。
- ・全体的に長太小の子どもたちは落ち着いている。それが力につながっている。
- ・メディアの時間：すぐに検索はできるが、間違った情報も多い。おかしいと感じることができるのが難しい。本来は親がすべきことではある。全部が正しい情報ではないことを学校からも伝えてほしい。自分の意見と似た意見が前面に出てくるから、自分の意見が正しいと思ってしまう。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校運営協議会では、毎回、それぞれの立場から見た児童の様子を交流している。また、地域からは工事や危険箇所、不審者等の情報もいただいているので、学校だけでなく、地域と連携した児童の見守り活動が行えた。
- ・学校運営協議会で、さまざまな行事等の開催について協議・検討をしていたので、保護者や地域の理解を得やすかった。
- ・みまもりたい委員への連絡や調整など、地域に係る活動に学校運営協議会や自治会が主体的に動いていただいている。それにより、地域と連携した活動を円滑に行うことができた。
- ・今年度は初の試みとして、学校運営協議会委員の方に授業を参観していただいた。また、中学校区人権公開授業も参観していただいた。学校の現状や子どもたちの様子を実際に見ていただき、このような機会はとてもよかったと言ってもらった。今後も継続していく。

(2) 課題

高齢化により、地域の方々の学校行事への参画が難しい現状である。学校と地域住民、ボランティア等の関係性が途切れてしまわないように、来年度以降の活動を検討していく必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	49	学生	3	154
地域住民	102	その他	0	

2 主な活動内容

- (1) 学習支援ボランティア（丸付け・ミシン・校外学習付き添い等）
 - ・子どもたちの見守り、声掛け、アドバイス
 - ・校外学習の支援、安全確保
 - ・家庭科（ミシンや調理）の見守り等
- (2) 図書ボランティア、読み聞かせボランティア
 - ・1年生～3年生の「朝の学習」での読み聞かせ
 - ・図書の修繕等、学校巡回図書指導員のいる時間に週1回程度活動
- (3) 安全安心ボランティア（登下校見守り）
 - ・「長太みまもりたい」メンバーによる登下校時の見守り等
- (4) 地域コーディネーター（学校ボランティアへの連絡・調整）
 - ・主に学習支援ボランティアのメンバーへの連絡調整等

◆ 箕田小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

- 学校関係者評価を生かした教育課題改善の取組
- 地域と連携した、校区あいさつ運動への取組
- 地域と連携した、防災及び安全安心の取組
- 地域と連携した、土曜の教育活動への取組
- 児童の教育活動への支援



2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・ 学校関係者評価及び学校経営の改革方針を検討していただくことで箕田小学校の子どもたちの現状や課題を知っていただくことができた。現状や課題を知っていただくことが、協議会からの具体的な助言やボランティアさんの支援方法の改善につながりつつある。
- ・ 運営協議会が主体となり、児童に「あいさつ推進ポスター」作成を募集し、地域に掲示することにより、校区全体にあいさつの大切さを伝えることができた。
- ・ 「和の街箕田地域づくり協議会」から防災頭巾を寄贈いただくとともに、地域の方と一体となった避難訓練を行うことができた。防災頭巾については、今後も新入児の人数分寄贈が継続される見通しである。また、2年生生活科学習で地域の消防団の装備等を実際に見せていただくことができた。今後も地域とともに防災教育及び活動を行いたい。
- ・ 校区の危険個所について、学校運営協議会で検討した。地域の皆さんとともに検討することで教員が把握していない危険個所について知ることができた。また、箕田地区青少年育成協議会が中心となって地域清掃活動を行い、地域の方と子どもたちが掃除をしながら、自分たちの地域の危険個所を知る活動を行うことができた。
- ・ 4年生の体育授業で、地域のスポーツ推進委員の方からニュースポーツについて紹介いただいた。たくさんの方に指導していただけるので、運動が苦手な児童も直接指導していただくことで運動の楽しさを味わうことができた。また、3年生総合「虫おくり」について、祭りの意味や由来について知るだけでなく実際に踊りや祭囃子を体験させていただいた。子どもたちは体験を楽しむことで、将来の地域の担い手としての思いを新たにしていた。
- ・ 2月14日に「ボランティアさん感謝の会」を行い、学校全体で地域の皆様へ感謝の気持ちを伝える活動を行うことができた。昨年度は見守りボランティアのみだったが、今年度は学習や読み聞かせ、図書



整備にも広げて招待した。地域の皆様にも喜んでいただけたので、今後も継続し、ボランティアの増加につなげていきたい。

(2) 課題

- ・ 学校長が中心となり、地域のボランティアの募集を地域に働きかけたが、担い手が減少しつつある現状が見えてきた。
- ・ 学校運営協議会の場で、地域の行事と子どもたちの様子等の話題についてはたくさんのご意見をいただけるが、学習面や生徒指導面での議論が活発になりにくい。地域の方に意見をいただける話題の提示の仕方を工夫する必要性を感じた。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	12	学生	1	75
地域住民	62	その他	0	

2 主な活動内容

(1) 学習支援ボランティア

ア 算数支援

全体指導の中で丸付けを行ったり、支援の必要な児童へ個別の支援を行ったりする。

イ 家庭科実習

5年生の初めての針と糸を使った裁縫や高学年のミシン実習や調理実習などの手伝いをしてもらう。

ウ 校外学習の付き添い

3年生地域たんけんなどに付き添い、安全に活動できるように見守ってもらう。



(2) 安全安心ボランティア

ア 登下校の見守り

地域の老人会、民生委員、PTA安全部による、交通量の多い個所や横断歩道などの見守り。

イ 交通安全教室の支援、マラソン大会の見守りなどを行う。

(3) 読み聞かせボランティア

全学年へ月1回程度、朝のモジュールの時間に1学年ずつ実施。

(4) 図書整備ボランティア

ア 図書館教育担当及び図書支援員と連携し、

図書室への来室機会や読書の機会を増やす取組として季節や学習内容を考慮した、図書の紹介や掲示物の作成を行っていただいた。

イ 本の修繕、書架の整頓など



◆ 千代崎中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組等（地域連携）

（1）千代崎海岸清掃活動（令和5年5月21日）

地域主催の海岸清掃に300名を超える生徒と教職員が参加し、1時間程度、美化活動に努めた。海岸に漂流していた木材やゴミ拾いを中心に行い、可燃物、不燃物、カン・ビン類等、種類別に分別することで環境汚染の現状を把握するとともに、環境保全のために今後、自分ができることを考える良い機会となった。



新型コロナウイルス感染症の影響で様々な地域行事等が中止になっていたが、日常が戻りつつある中で、こうした行事に意欲的に参加し奉仕しようとする姿が見受けられた。

また、地域の方々との協働を通して、地域の一員であることを認識しており、生徒アンケートにおいても、昨年度より多い約70%の生徒が今後も地域行事に積極的に参加したいと回答している。

（2）各部活動による地域貢献活動

① 吹奏楽部

令和5年10月7日ふれあいホールでの玉桜敬老会を始め、11月3日には愛宕小学校でライブイン愛宕、11月5日には岸岡山緑地での森の音楽会に参加した。森の音楽会では、経験の少ない1年生及び2年生部員での演奏となったが、生徒の一生懸命に取り組む姿が、観客に多くの感動を与えた。また、今後も参加してほしい旨の意見を主催者側からいただいている。



② 美術部

玉垣会館で開催される文化祭において、約2mのイラストを始め、粘土で作成した食品サンプルや絵画等、昨年度より多い全40作品を出展した。文化祭を活気付ける作品ばかりで運営の一助となったことから、参加者からは生徒作品に対して高い評価をいただいた。

(3) 職場体験学習



昨年度より2年ぶりに実施した職業体験学習ですが、本年度も地域及び地域内外の事業所の協力の下、4日間の職場体験学習を行うことができた。学習を行った第2学年生徒の職務を遂行するひたむきな姿勢や礼節を重んじる態度に、どの事業所からも称賛の言葉をいただいた。また、次年度以降も受け入れたいとの意見が多数寄せられた。



(4) 学校関係者評価

「学力向上」、「ICT活用」、「不登校対策」、「地域連携」、「人権教育」について多面的な意見や的確な助言等をいただいた。こうしたことを踏まえ、学校全体で見直しを図り、改善につなげていきたい。



生徒や保護者の実情に応じた議論を展開したり、地域住民の要望を基に熟議したりする等、今後の学校運営協議会の活性化に努めたい。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・地域人材を活用した薬物乱用防止教室の開催
- ・年2回の授業参観実施及び体育祭、文化祭の学校行事参観
- ・様々な地域行事への参画を通じた、地域行事への参加意欲の向上
※生徒アンケート調査「地域のいろいろな活動に参加したいと思う」
肯定的回答 1学期 70.0% 2学期 67.4%

(2) 課題

- ・不登校支援等、地域住民が関与できる具体的方策の提示
- ・学力向上を見通した幼保小中連携の在り方

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	21	学生	0	26人
地域住民	5	その他	0	

2 主な活動内容

- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り及び危険箇所図作成等）

◆ 若松小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

Ⅰ 学校運営協議会の取組

- 夏休みラジオ体操の振興（地域交流、青少年健全育成の場として）
 - ・自治会とPTA、若松地域づくり協議会が連携。児童の参加数は減りつつあるが、子どもから大人まで、地域住民も参加。



＜13年間の取組み結果 実施日数、参加者等の年度別集計＞												
年度	児童数	平均	最多	最少	子ども	保護者	大人	合計	摘 要			
H23		8日	14日	5日	358名		42名	400名	取組開始			
H24	418	7.6日	13日	4日	428名		142名	570名	復活、合同実施あり 大人増			
H25	401	6.9日	16日	4日	397名	70名	93名	560名	全地区実施・6:30多くなる			
H26	388	7.5日	12日	4日	388名	64名	94名	546名	ほとんどの地区が6:30開催			
H27	369	8.8日	14日	6日	348名		160名	508名	全地区6:30開催 日数増			
H28	353	9.2日	16日	5日	320名		171名	491名	平均実施日数過去最多			
H29	342	7.3日	11日	4日	309名		143名	452名	実施日数前年比減。雨天			
H30	308	9.1日	18日	5日	274名	61名	73名	408名	11地区が前半と後半に実施			
R1	295	8.5日	16日	4日	257名	87名	87名	431名	子どもの参加率が減少傾向87%			
R2	283	6.9日	12日	5日	233名	66名	80名	387名	子どもの参加率が更に減少82%			
R3	258	6.1日	12日	5日	223名	60名	85名	388名	コロナ禍で縮小傾向。子どもの参加率86%			
R4	242	6.1日	12日	5日	204名	75名	70名	349名	コロナ禍で縮小傾向。子どもの参加率84%			
R5	241	7.9日	10日	5日	173名	54名	57名	285名	子どもの参加率が更に減少72%			
※天候による中止あり					※1日の平均参加者数							

○地域と学校とPTAの連携

- ・各自治会とPTA地区委員と連携（登下校指導・パトロール）。
- ・田植えや稲刈り体験、サツマイモの苗植えや収穫を農業委員会と若松地域づくり協議会が支援。



- ・光太夫太鼓（5年）を「ふれあいフェスタ若松」や集会、音楽会で披露、それにともなう太鼓の修繕、運搬等を大黒屋光太夫顕彰会が、太鼓の提供は若松地域づくり協議会が援助。また、夏休みには寺子屋「光ちゃん塾」が2日間開催され、児童も参加。座学のほかに、光太夫記念館の見学や、座像の語り部も体験した。



・学校環境整備デーのとりくみ

6月・・・プール周辺の草刈り

8月・・・クリーンスクール

若松地域づくり協議会が草刈り機
や運搬用トラックを提供。



2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校運営協議会を通して PTA や地域と密に連携することができた。特に、学校行事（運動会・研究発表会等）に積極的に協力いただけたことが、スムーズな運営につながった。
- ・地域の方々の協力で、人材や地域教材を活かした学習活動を継続して行うことができた。上級生から下級生へ引き継がれることにより、郷土への愛着が育まれている。また、学校運営協議会委員の方に学習活動の様子を参観していただき、今後の目標や課題の共有ができた。
- ・地域行事に親子で参加する家庭が増えた。

(2) 課題

- ・教職員の働き方改革と、地域連携のバランスをとること。
- ・学校ボランティアの本格的な再開に向けた体制づくり。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

Ⅰ 登録人数（活動に携わった年間の実人数）

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	193	学生	4	349
地域住民	150	その他	2	

2 主な活動内容

- ・環境ボランティア（草刈り、樹木伐採、果樹採取 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、避難訓練、等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ）
- ・学習ボランティア

◆ 玉垣小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

学校運営の応援団として教育活動に対する理解と支援をいただいている。また、子どもの健全育成等に関する様々な立場から、貴重なご意見をいただき、学校の教育活動に反映させている。

(1) 通学路の点検について

P T A地区委員が、現地調査等により作成した通学路危険箇所一覧をもとに、通学路の安全確保について検討した。今後も地域自治会やみまもり隊とも連携しながら、子どもの安全確保のための取組を進めていくことが確認された。

(2) 授業参観の取組

学校を支援し、子ども達の学校生活を充実したものにしていくために、学校運営協議会委員の方に授業を参観していただき、子ども達の授業などの様子をみていただいた後に意見交換を行い、助言をいただいた。

(3) 学習ボランティア・読み聞かせボランティア等の取組

地域コーディネーターの段取りのもと、算数などでの個別の支援や、家庭科などの実技の補助、朝の読書の時間での読み聞かせや図書整備など、様々な場面でボランティアを派遣していただいた。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・登下校時の安全確保、個別の支援による生活の安定や学力補充、会議での有益な情報交換等、学校と連携しながら活動することができた。

(2) 課題

- ・学校から提示された教育課題等を協議することが中心となっている。

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	22	学生	0	86
地域住民	64	その他	0	



2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（家庭科の補助、児童への個別支援 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ、本の修繕 書架の整理 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り 等）
- ・環境ボランティア（除草作業 花壇の世話 等）

◆ 愛宕小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組「コロナ禍後における地域との協働活動」

昨年度は、コロナ禍の中で、児童が安心して学校や地域で過ごせることを大切にし、地域とつながる行事を徐々に再開することができた。

今年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受け、学校及び地域の行事等の取組をどのように再構築していくか、学校運営協議会や愛宕地域づくり協議会で熟議を重ねた。

① 学校と保護者・地域が一体となった取組

学校運営協議会では、委員の皆さんから、児童がおかれている家庭や地域での状況等を教えていただくとともに、学校行事や学校環境づくり等を支援していきたいと心強い意見をいただいた。また、学習支援ボランティアとして、授業支援や校外学習付添、宿題支援等に積極的に参加していただいた。



愛宕地域づくり協議会では、児童の心を豊かに育むことをねらいとした地域行事が企画され、その取組に参加してきた。その一つとして、児童自らが地域行事に取り組む自主活動「あたごっちボランティア」を企画・運営していただき、活発な活動が行われた。

② 学校評価等への積極的な熟議

学校経営方針を反映した学校評価となるよう、学校関係者評価書の評価項目や評価指標を見直した。また、評価指標となる学校アンケート（児童・保護者・地域）の内容も精選した。そして、学校運営協議会委員の皆さんに、地域アンケートや学校関係者評価について、学校とは違う視点で見つめ直し、ご意見をいただいた。特に、課題として見えてきた「自己肯定感の低下」では、1年生の「昔遊び」を学ぶ学習の中で、ボランティアが児童一人ひとりの良さを見つけ褒める等、学校・保護者・地域が一体となって児童の自己肯定感を高めていくことの大切さを確認した。また、「家庭教育力の弱さ（家庭でのスクリーンタイムの削減）」では、児童が学習で端末を有効活用できている面も踏まえて、テレビ、新聞、読書、スマホ等の様々なメディアをバランスよく使うことが大切であるという意見をいただいた。学校経営に対して、建設的な熟議ができ、次年度の学校経営方針につないでいきたい。

③ 「学校だより」やHPを活用した取組の発信

学校運営協議会の熟議の内容、学校行事や学習支援ボランティアを活用した活動を「学校だより」やHPを通じて保護者・地域に発信した。取組内容の周知を重ねることで、学校の様子や地域との連携した取組が地域の方に伝わり、学校の取組への理解が深まった。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・ 地域と連携した学校行事や学習支援ボランティアの活用により、避難訓練時の児童の安全確保、学習支援・宿題支援を通じた学習に困り感をもつ児童への意欲付け、米作り等の実体験を通じた生きた学習等、児童の学びへの高まりにつながった。
- ・ 愛宕地域づくり協議会育成部会の皆さんが中心となり、5・6年生児童有志の「あたごっちボランティア」を組織し、「あたごの灯り」「ライブイン愛宕」「子ども食堂とコラボした取組（ウォークラリー、餅つき等）」が実施され、児童が地域行事に積極的に参加する機会をつくっていただいた。



(2) 課題

- ・ ボランティアにおける地域人材の高齢化が進んでいる。また、児童・保護者アンケートの結果から、児童や保護者の中に地域行事等へ関心が低い方が一定数いる。コロナ禍で人と人がつながることの大切さが薄れてしまったように感じる。地域の方々がつくる行事や日々の活動は、薄れてしまった人と人とのつながりを繋ぎ直し、心が豊かになる大切な取組である。児童の様々な体験や出会いの学習を保障する取組への参画意識の向上を図りたい。

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	9人	学生	6人	78人
地域住民	63人	その他	0人	

2 主な活動内容

- ・ 学習支援ボランティア（授業支援、校外学習付添い、宿題支援 等）
- ・ 環境ボランティア（草刈り、学校花壇の花苗植えと管理 等）
- ・ 安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通安全教室の支援 等）
- ・ 読み聞かせボランティア（朝の読み聞かせ活動）
- ・ 図書館整備ボランティア（本の修繕、図書館の掲示物作成 等）

◆ 白子中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

- (2) 第1回学校運営協議会〔令和5年5月24日(水)〕
 - ①本年度の学校運営および教育活動、校舎改修工事等について
 - ②「校舎改修工事」、「ノーメディアデー」について意見交換
 - ③本年度のテーマも「家庭学習の定着とスクリーンタイムの縮減」として継続していくことに決定。
- (2) 第2回学校運営協議会〔令和5年7月6日(木)〕
 - ①生徒の様子、本校の教育活動等について
 - ②「家庭学習の定着とスクリーンタイムの縮減」をテーマに意見交換。
今後、保護者向けにアンケート調査を実施する。
- (3) 第3回学校運営協議会〔令和5年9月7日(木)〕
 - ①生徒の様子、本校の教育活動等について
 - ②「家庭学習の定着とスクリーンタイムの縮減」をテーマに意見交換。保護者向けアンケート結果の分析。今後は、子どもにも同様のアンケートを実施し、保護者アンケート結果と比較していくことが必要。
- (4) 白子中学校校区合同(兼第4回)学校運営協議会〔令和5年11月7日(火)〕
 - ①各校の教育活動、各校の学校運営協議会の取組等について
 - ②分科会：3つのテーマ「あいさつ・交通安全」、「家庭学習の定着」、「スクリーンタイムの縮減」について、グループに分かれて意見交流を行った。
 - ③全体交流
- (5) 第5回学校運営協議会〔令和6年1月25日(木)〕
 - ①生徒の様子、本校の教育活動等について
 - ②令和5年度学校自己評価・学校関係者評価について
 - ③「家庭学習の定着とスクリーンタイムの縮減」をテーマに意見交換。
保護者・生徒向けアンケート結果の比較・分析を行う。アンケートや保護者への啓発など、発信することの大切さを確認。
- (6) 第6回学校運営協議会〔令和6年3月14日(木)〕
 - ①生徒の様子、本校の教育活動、3年生の進路の状況等について
 - ②令和5年度学校自己評価・学校関係者評価について
 - ③本年度の取組および来年度の取組について意見交換

2 取組の成果と課題

(1) 成果

本年度も、「家庭学習の定着とスクリーンタイムの縮減」をテーマに意見交換を行うとともに、校区の小学校とともに「ノーメディアデー」の取組を実施することができた。また、校区合同学校運営協議会では、各校の全ての委員が参加し、課題となる3つのテーマについて、グループに分かれて話し合うことができた。「家庭学習の定着とスクリーンタイムの縮減」については、保護者生徒ともにアンケートを実施することができ、啓発・発信を行うことができた。

(2) 課題

保護者や地域住民、学校（教職員）がコミュニティ・スクール推進に向けて、それぞれの役割や在り方について、学校運営協議会としてさらに啓発をしていく必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	144	学生	0	166
地域住民	22	その他	0	

2 主な活動内容

◇ 環境ボランティア

P T A福祉部が中心となり、校門や正面玄関を飾るプランターへの「花の苗の植え替え」の支援をしていただいている。本年度は6月と11月に実施した。また、地域のボランティアの方には、学校周辺の除草作業等に絶えず自主的な支援をしていただいている。

夏休みに、除草作業をメインとする「奉仕作業」を実施した。参加者は、保護者・職員・生徒など、多くの参加者の協力を得て、学校敷地内の環境整備を行った。

◇ 安全安心ボランティア

登校時に、地域の方々や民生委員・児童委員、保護者の方々に、交差点等、交通事故が心配される箇所を中心に交通安全ボランティアとして生徒の見守りや声がけなどの支援をしていただいている。

3 取組の成果と課題

(1) 成果

本年度は、新型コロナが落ち着き、対策を講じながら例年どおり実施することができた活動が増えた。「家庭学習の定着とスクリーンタイムの縮減」に向けて、アンケートを実施し、啓発を行うことができた。

(2) 課題

来年度以降、本校の課題の一つである交通事故の防止やマナー面での指導に交通安全ボランティアを増員していくためにも、今後、保護者や地域の方の参加や協力を呼びかけていきたい。

◆ 稲生小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会での協議

(1) 学校の教育的課題の共有と熟議

経営方針を承認いただいたうえで、学校の抱える課題について情報共有を行い、協議を行った。

①安全な環境の整備

- ・保護者の送迎による東側道路の混雑対策
- ・不審者対応

②生活習慣と家庭学習の見直しと定着

- ・白子中学校区「ノーメディアデー」(年5回)の取組
- ・児童が自ら進んで学ぶ家庭学習への転換

③地域コーディネーターによる学校支援ボランティアの活動促進

- ・各ボランティア活動の成果について情報共有

④子どもたちの授業や活動の参観

⑤学校関係者評価

- ・今年度の評価、ご意見をいただき、次年度の学校運営に反映。

2 家庭や地域とともにある学校づくりの促進

(1) 学校支援ボランティアの充実

地域コーディネーターと連携し、学校支援ボランティアを積極的に活用することで、効果的な地域学習や出前講座を実施することができた。



(2) 夢ある稲生まちづくり協議会との協働

- ・サマーフェスタ、収穫祭、ふるさとめぐりウォーキング、ムラサキツツジ学習会等のイベントに多くの児童や保護者が参加する姿が見られた。
- ・「稲生・農地・水・環境を守る会」の方々のご協力で、さつまいもの苗植えと収穫体験、田植え、稲刈り、飯盒炊爨体験等をさせていただき、地域の産業について学ぶ機会となった。
- ・「稲生地区青少年育成町民会議」主催の「わたしたちの住む町 稲生」絵画・作文コンクールに参加し、稲生の町の素晴らしさに改めて気づくことができた。



1年昔の遊び

3 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・ボランティアコーディネーターと地域コーディネーターを中心として、学校支援ボランティア活用の体制が整い、地域学習、出前授業等が充実。
- ・学校運営や諸課題について、保護者や地域と連携・協議し、改善、解決に向けて協働することができた。

(2) 課題

- ・教職員が主体的に地域に働きかけ、6年間を見通した系統的な地域学習の定着に向けて、カリキュラムの見直しとマネジメントが必要である。
- ・地域の豊かな人的、物的資源を可能な限り有効に活用するために、地域コーディネーターとの連携をさらに深める必要がある。
- ・保護者及び地域の方々に対し、様々な情報を適切に発信し、3者の連携及びコミュニケーションの充実を図っていくことが不可欠である。
- ・地域と協働する活動を保ちつつ、学校現場の働き方改革を具体的にどのように進めていくとよいか、継続した協議が必要である。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	22	学生	1	107
地域住民	84	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援（1年朝の準備・配膳・下校支援、2年九九練習、図工製作、家庭科ミシン・調理、1年プールお着替え等）
- ・読み聞かせ（各クラスで読み聞かせ、6年卒業読み聞かせ）
- ・図書（図書館の本の修理、図書整理、掲示物の作成）
- ・特別支援（特別支援学級校外学習の見守りやサポート）
- ・環境（校内花壇の世話、草刈り等の環境整備）
- ・見守り（登下校の見守り、あいさつ運動の支援等）
- ・地域学習（各学年の地域学習の指導、見学引率支援）

◆ 桜島小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

- 第1回 学校経営方針、学校運営協議会の活動内容について
- 第2回 いじめアンケートの結果
桜島小学校いじめ防止基本方針について
- 第3回 学力向上の取組・学校アンケートについて
- 第4回 白子中学校区学校運営協議会
あいさつ・交通安全について
家庭学習の定着について
スクリーンタイムの縮減について
- 第5回 学校保健安全委員会と兼ねる
学校評価について
- 第6回 学校評価について 次年度に向けて

1 安心・安全な地域を目指して

あいさつ運動・登下校時の見守り

登下校時、地域の方々にあいさつ運動をしていただいている。児童アンケートでは「誰にでもあいさつをしている」という項目で、8割を超える児童が「している」「どちらかというとしている」と答えている。

地域の方には、子どもたちが安全に登下校できるように見守りをしていただいている。不審者対応など登下校時における急な対応にも、学校運営協議会委員の呼びかけで地域・保護者の方がパトロールを強化してくれたことにより、児童は安心して登下校することができた。



環境整備

スクールパークやプールなど老朽化している学校施設など、使いにくくなったものを修繕していただいた。職員では、修繕できない細かな部分まで、使いやすくなるようにしていただいた。また、不審者侵入時に教室のドアを閉めるためのつかえ棒を必要本数製作していただいた。



2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・地域の方による見守り活動など、児童が安全安心に登下校することができた。また、日常の見守り活動だけでなく、不審者対応メール配信時など、緊急時の対応についても、自治会、民生委員さんなどの協力を得て、

多くの方から児童の登下校時の見守りをしていただくことができた。

- ・学校運営協議会で教育的課題等について議論することを通して、学校の現状を共有することができた。また、児童のために読み聞かせ、学習支援、環境整備など多くのボランティアの方から支援いただくことができた。

(2) 課題

- ・ボランティア活動を継続して進めていくため、適宜ボランティア募集を案内するなど、人材確保に努める。
- ・教職員の総勤務時間縮減の取組に関わって、学校と地域が協働していけるよう取り組んでいく。



Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	12	学生	1	58
地域住民	45	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア
(裁縫・ミシン・調理実習、水泳の支援、昔の遊び、校外学習の付き添いなどの学習支援)
- ・環境整備ボランティア (プールフェンス修理、校内設備等の修繕等)
- ・安全安心ボランティア「桜島っ子見守り隊」(登下校の見守り)
- ・図書ボランティア (読み聞かせ、本の修繕等)



◆ 旭が丘小学校



三重県 SDGs 推進
パートナー認定校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 まちづくり協議会との協同作業



6年生の卒業記念を兼ねて、まちづくり協議会と6年生が「思い出に残る大切な風景」を形にするため、協同制作を計画した。制作にあたっては、6年生が一人一枚ずつ互いに色や大きさを合わせながら作業を進め、上記のような点描画を作成した。その後、まちづくり協議会の支援のもと、額縁を作るなどして作業を進め、完成品は校内に掲示する予定である。自分たちの学校、地域の学校として、多くの人が親しみを感じられる作品としたい。事業を進めるにあたって、学校運営協議会で協議し、旭が丘地区まちづくり協議会の皆様の多大なるご支援、ご協力をいただいている。

2 環境整備に向けた取組



12月9日(土)に旭が丘地区まちづくり協議会、文化スポーツ部主催の「クリーン旭が丘」を開催した。地域の方々、保護者、児童の約290名が、自宅の近くから旭が丘小学校までごみを拾いながら歩いて参加した。道ばただけでなく、参加した児童が積極的に校内の落ち葉を拾う姿もあった。

また、令和5年度は、PTAが焼き芋を作って販売する催しがあり、参加者からは好評であった。

地域の方々と児童らが共にまちの美化に意識を向けることができる良い機会となっている。



3 通学時の安全確保に向けた取組

東旭が丘六丁目自治会において、防犯カメラを設置した。令和5年度は2基設置し、令和6年度は更に2基設置予定である。

まちの防犯として活用するとともに、必要に応じて、児童の登下校の見守りにも活用していきたい。

4 取組の成果と課題

(1) 成果

- ・まちづくり協議会のご支援のもと、地域全体で、環境美化への意識が高まるとともに、校区の環境整備が進んだ。(SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」)
- ・自治会長、民生児童委員、まちづくり協議会、地域の公的機関等のご理解、ご協力の下、地域を舞台にした総合的な学習の時間や生活科の授業の充実に繋がり、地域への愛着を育むことができた。
- ・学校関係者評価を通して、学校運営の現状や課題について情報共有し、その改善点について熟議するとともに、次年度の学校運営に生かすことができる建設的なご意見を多くいただいた。

(2) 課題

- ・年間計画に基づき、系統的に、見通しをもって、地域教材のさらなる発掘に努め、学んだことを地域や保護者に対して発信していく取組の中で、児童の「自ら知り、考え、行動する」力の育成と特色ある学校づくりに努めていきたい。

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	46人	学生	8人	130人
地域住民	73人	その他	3人	



昔遊び

2 主な活動内容

持続可能な支援体制が構築されており、民生委員、自治会及び3名の地域コーディネーターによる采配のもと、充実したボランティア活動が日常的に行われている。

- ・学習支援ボランティア（ミシン、調理実習補助、校内・校外学習の付添い、算数・図工（工作）の補助、昔遊び、SDGs取組推進）
- ・環境ボランティア（季節のディスプレイ作成、備品修繕）
- ・安全安心ボランティア（見守り）



読み聞かせ

- ・読み聞かせボランティア（読み聞かせをはじめとする読書に親しむ各種イベントの開催）
- ・図書ボランティア（図書ギャラリーの整備、本の修繕等）
- ・クラブ活動支援ボランティア（高専教員、地域住民によるクラブ指導）

◆ 鼓ヶ浦中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

- (1) 第1回学校運営協議会〔令和5年5月18日(木)〕
①本年度の学校運営協議会の組織運営 ②今年度の学校運営
- (2) 第2回学校運営協議会〔令和5年6月7日(水)〕
①体育祭参観(アンケート実施)
- (3) 第3回学校運営協議会〔令和5年10月26日(木)〕
①文化祭参観 ②学校の課題共有(学力、部活動等)
- (4) 第4回学校運営協議会〔令和5年11月1日(水)〕
①鼓ヶ浦中学校区拡大学校運営協議会の実施

11月上旬に、校区内小学校2校の学校運営協議会委員と共に拡大協議会を実施することができた。内容は、鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課職員の方から『地域の活性化』と題して、地域と共にある学校を目指して課題や取組事例等のお話を聞かせていただいた。また、グループ協議として【安全安心、あいさつ・言葉遣い、読書活動・家庭での過ごし方】をテーマにした話し合いと全体で還流をすることが出来た。

- (4) 第5回学校運営協議会〔令和6年2月6日(火)〕
①教育委員会より(鈴鹿市部活動方針) ②これまでの活動振り返り
③学校関係者評価について
- (6) 第6回学校運営協議会〔令和6年3月8日(金) 予定〕
①学校評価 ②令和6年度学校運営協議会の日程

(7) その他：学校行事への参加

本年度はコロナ禍が更に落ち着き、本格的に学校行事が再開された。運営協議会委員の方々には、体育祭や文化祭、授業参観、校区人権フォーラム等、生徒の姿と共に学校の様子について参観していただいた。また、鼓ヶ浦海岸清掃を6、10月に実施できたことで寺家地区青少年育成会議委員よりお礼をいただき、3月には大津波避難訓練実施予定にあたり、委員の皆様をはじめ地域の方にも地域回覧を通じて参加を呼び掛けている。



2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・生徒が地域行事に参加する機会が増え、その折に地域の方に中学生の態度や働きをほめていただき、生徒も自信とやりがいを感じて地域とつなが

- ろうとする態度が持てた。
- ・地域の方に生徒の授業の様子や体育祭・文化祭等の学校行事を参観していただく中で、たくさんのご意見をいただき、外から見た生徒の力や可能性を学校側も感じる事ができた。
- ・通信等で学校の実情を知っていただき、ボランティア募集を呼びかけることで、力を貸してくださる地域ボランティアさんがたくさん集まり、図書館業務、花植え、授業支援、自転車修理、部活動支援などこれまでにない幅広い場面で、地域の方に学校へ介入していただくことができた。
- ・校区合同学校運営協議会を開催し、地域で活動してもらっている様々な立場の方たちと顔を合わせ、意見交流することができた。

(2) 課題

- ・学校関係者評価でご意見をいただくときに、学校運営協議会委員にわかりやすい項目でないといけない。しかし、学校自己評価では、教職員にも意義のある内容でなくてはならない。評価目標の再考が必要である。
- ・学校の教員が段取りをするのではなく、委員会自体の目的を明らかにさせ、テーマや目標を立て実働できるようにするなど、委員長や地域 Co に任せられるような運営を目指したい。
- ・効果的な拡大合同運営協議会の持ち方の検討。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	44	学生	1	58人
地域住民	13	その他	0	

2 主な活動内容

- ・環境ボランティア（校内の草刈り、花の植替え）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
- ・学習ボランティア（授業、夏季休業中のサポートデイ支援）
- ・図書館ボランティア（図書室内の蔵書管理）
- ・部活動ボランティア（バレーボール、ソフトテニス、バスケット）

◆ 白子小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

【第1回学校運営協議会】

- ・「学校経営の改革方針」についての協議と承認
学校教育目標「わかる授業！友だちいっぱい！今日も来てよかったと思える白子小学校」の実現に向けた「学校経営の改革方針」について協議し、承認された。
- ・津波避難訓練の協力依頼と内容説明
- ・学校自己評価の承認と危機管理マニュアルの見直し
- ・卒業式の服装と学校配当予算についての説明

【第2回学校運営協議会】

- ・授業参観の児童の様子を交流
2年生が、1年生に読み聞かせに行く取組は、コミュニケーションの育成に効果的であると話し合われた。
- ・机の引き出しについて
毎学期、休み前に持ち帰ることは大変なため、学校で洗うようにして持ち帰りを減らせないかと意見をいただいた。
- ・水泳授業の状況説明と運動会の開催方法について

【第3回学校運営協議会】

- ・全国学力学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果報告
- ・授業見学後の児童の様子を交流
英語アシスタントから外国の方の発音を聞きながら学習できることはとても良いことであると意見をいただいた。
- ・次年度の運動会について
暑さ対策をしながらの練習が続いたため、また、運動会当日も暑さが心配されるため、次年度は10月第三週を予定していることについて意見をいただいた。

【第4回学校運営協議会（鼓ヶ浦中学校区の合同開催）】

- ・講演「地域の活性化について」
- ・グループ討議（安全安心、読書活動、家庭での過ごし方）

【第5回学校運営協議会】

- ・学校及び児童の様子について
通学路を正しく帰っていない状況があるため、今一度通学路の意義を伝えていく必要があるとご意見いただいた。
- ・児童・保護者アンケートの結果
- ・学校関係者評価について
今年度の取組の成果と課題について報告し、委員から意見や感想をいただいた。評価指標のアンケート項目に「友だちを大切にしていますか」「仲良くしていますか」など、他者を思いやる項目が必要と意見をいただいた。

【第6回学校運営協議会】

- ・学校関係者評価について

令和6年度に向けての改善策について説明を行った。今後の改善策について理解をいただいた。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校運営協議会委員の方々は、大変協力的で、委員経験年数の長い方もみえる。そのため、継続的に白子小学校の様子を的確に把握されており、学校運営に関してとても建設的なご意見をいただくことができた。
- ・学校公開デー（授業参観）で、児童の学習や教室の様子を見て、意見をいただいたことで、毎学期の引き出しの持ち帰りを止めるなど、改善することができた。

(2) 課題

- ・運営協議会の開催時刻を午前中に設定し、児童の学習の様子を見ていただいたが、仕事の都合で参加できない方もみえた。
- ・ボランティアの方が高齢化してきており、活動を継続していくためにも新規募集を行っていく必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	8	学生	0	67
地域住民	59	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け、ミシン、校外学習の付き添い 等）
- ・環境ボランティア（草取り 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、避難訓練の支援 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ、図書館整備、卒業生へのブックカバーの作成 等）



◆ 鼓ヶ浦小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

学校運営協議会では、学校行事への協力体制や地域での子育てについて各々の立場から意見を交流し、熟議してきた。今年度は2年ぶりに地域や保護者の協力のもと、地震・津波を想定した稲生小学校への避難訓練や砂の造形活動を実施することができた。

<地域・学校・PTA との連携>

6月と10月の土曜日に地域とPTAが共催して海岸清掃を行った。子どもたちも多数参加し、地域の海岸に親しみをもつことができた。

学校運営協議会の方に学校公開デーや校区人権フォーラムを参観していただき、子どもたちの学習や活動の様子の気づきを交流した。



2 取組の成果や課題

(1) 成果

・新型コロナウイルスの影響で実施を見合わせていた稲生小への避難訓練や砂の造形活動、全校での運動会、まちづくり協議会主催の夏祭りなど多くの行事を復活させることができ、その都度地域と学校とがつながることができた。また、保護者の方にも学校に来ていただく機会が増えた。

(2) 課題

・数年ぶりに復活した行事等もあり、準備や運営に追われ、一つ一つの行事が子どもたちの今に応じたものなのか課題が残る。子どもたちが主体的に取り組めるよう、行事の見直しや取捨選択が必要だと考える。

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	24人	学生	0人	99人
地域住民	75人	その他	0人	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（授業支援、体験学習の講師及び支援 等）
- ・環境ボランティア（除草作業、花壇整備、備品等の修繕 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の引率、校外行事の安全 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ、掲示物作成 等）

◆ 天栄中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会及び拡大学校運営協議会の取組

(1) 天栄中学校運営協議会として、毎回(計6回)の会議で「学校の課題」や「地域における学校」等の熟議を重ねてきた。本年度は、授業参観を年2回行うことにより、子どもの実際の学びの姿を観た上で、学校の教育活動をより良くするための取組について考えることができた。



昨年度に引き続き、研修主任より授業づくりと承認活動を柱とする「つながり」と「学び」のある学校づくりの推進についての報告を行った。また、学校関係者評価に関わって各担当者からの報告を行った上で、各委員との質疑応答を行うことができ、より充実した評価となった。

また、学校運営協議会委員による「授業参加」を実施した。理科の3年間のまとめとなる単元「持続可能な社会をめざして」で、「鈴鹿市をより良くするために」をテーマに、生徒が小グループによる協働的な学びを通して具体的な方策を考えた。そして、発表会に学校運営協議会委員が参加し、提案に対するコメントを述べた。

このように、生徒や職員との交流の機会を持つことができ、充実した取組となった。

(2) 天栄中学校区拡大学校運営協議会を、校区の小学校・中学校の、一貫した教育の円滑な推進に資するための協議機関として設置している。今年度も10月に開催した。



①鈴鹿市教育委員会教育支援課・加藤コーディネーターによる講演(「協働型コミュニティ・スクールについて」)。

②グループ別討議(学校運営協議会としてできること、課題等)

③各グループから出た意見の交流会。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校運営協議会で熟議を重ねることにより、学校や地域での課題が明確になり、学校との協働で活動することができた。
- ・授業参観や授業参加、教職員との質疑応答など、子どもや教職員との交流の機会を設けることにより、共感を土台に、より具体的な課題共有や活動につながった。
- ・校区拡大学校運営協議会では、安全安心活動や環境整備、学習支援、地域連携、防災活動などについて、小学校区を越えて思いを聴き合い共有することができた。

(2) 課題

- ・校区連携をさらに充実させる必要がある。
- ・学校安全の視点からの学校教育環境の充実（施設改修等）について、学校と地域の連携・協働をどのように進めていくか検討が必要である。
- ・義務教育学校設立を見据えた長期的な展望に立って、協働型コミュニティ・スクールの実現・充実を図る必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	1	学生	0	25
地域住民	23	その他	1	

2 主な活動内容

- ・環境ボランティア（資源ごみ回収・廃品回収、施設営繕・環境整備）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
- ・図書ボランティア（図書室の環境整備、図書案内の掲示）

(1) 資源ごみ回収箱設置と回収作業、廃品回収

地域コーディネーターと学校運営協議会委員が中心となって回収ボックスを集会所や公民館4箇所に常設している。資源ごみ回収収益金・奨励金はPTA活動を通して教育活動推進の大きな財源となっている。

昨年度より再開した廃品回収は、今年度、保護者・関係者の負担を軽減し持続可能な取組とするために実施方法の見直しを図った。昨年度と大きく変わったため、地域の方々の理解を得ることに当初時間を要したが、情報発信等を丁寧に行うことにより、2回目には1回目と比べて回収量が増加した。



(2) 図書案内の掲示

毎月、年中行事や季節の植物などの掲示物や書籍や詩の紹介を本館・東館の掲示板に飾ってもらっている。

◆ 天名小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会での協議

(1) 第1回学校運営協議会

- ・学校経営方針
- ・年間行事予定
- ・学校予算

(2) 第2回学校運営協議会

- ・授業参観（水泳授業）後の児童の様子について意見交換
- ・協働型コミュニティ・スクールについて
- ・1学期いじめアンケート結果の情報共有
- ・学校評価について
- ・修学旅行の様子、学校再編計画について情報共有
- ・家庭学習の定着に係る地域への協力依頼

(3) 第3回学校運営協議会

- ・講演「協働型コミュニティ・スクールの事例より」
- ・中学校区学校運営協議会委員グループ別の話し合い
「学校運営協議会として」できることやその課題等



(熟議の様子)

(4) 第4回学校運営協議会

- ・「天名マイふれあいフェア」の打ち合わせ
- ・おにぎりコンテストの審査会
- ・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果について

(5) 第5回学校運営協議会

- ・授業参観後の児童の様子を意見交換
- ・2学期いじめアンケート結果の情報共有
- ・学校評価について

(6) 第6回学校運営協議会

- ・学校関係者評価書を基に協議
- ・3学期いじめアンケート結果の情報共有
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
- ・令和6年度年間行事予定



(おにぎりコンテスト表彰式)

2 取組の成果や課題

【成果】・各回毎に資料を事前配布することで、毎回、学校運営の現状と課題やその改善策、目指す学校像について、効果的に地域や保護者と熟議することができた。

- ・コロナ禍が明けて、たくさんの行事も制限なく再開され、これまで以上に地域の協力を得ながらの様々な取組は、児童にとって貴重な体験であり、また、地域の方々との触れ合いが子ども

たちの人間形成構築を担っていると感じた。

【課題】・「協働型」コミュニティ・スクールの実現に向け、さらに教職員、保護者、地域のそれぞれが役割やあり方について熟議し、推進していく必要がある。

- ・緊急事態発生時には、様々な制約や変更が予想され、いかに家庭・地域とつながりを保ちながら、持続可能な学校運営・教育実践を進めていくのか、家庭・地域連携の在り方を考える必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	58	学生	1	116
地域住民	57	その他	0	

2 主な活動内容

(1) 学習支援ボランティア（ふるさと先生）

- ・読み聞かせボランティア

週一回の業間及び月一回の朝に、読み聞かせを行っていただき、読書習慣定着にご協力いただいた。

- ・米作りボランティア

籾まきから収穫まで児童の農作業体験及び観察・見学等でお力を貸していただいた。

- ・「天名マイふれあいフェア」やミシン等、「家庭科」のゲストティーチャー・補助ボランティアとしてご協力いただいた。



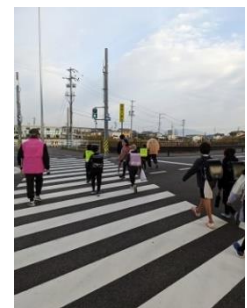
(ふるさと先生との田植え)



(ふるさと先生との授業)

(2) 安全安心ボランティア

毎日の登下校の見守り活動やあいさつ運動を行っていただきながら、気になる児童への声掛けも含め指導していただいた。また、マラソン大会では交通誘導や交通整理を行っていただいた。



(登下校見守り)

3 取組の成果と課題

【成果】地域の方とのふれあいにより、子どもたちは、地域から見守られ、支えられていると実感している。そのことが子どもたちの自尊感情や自己有用感の育成につながっていると感じている。

【課題】ボランティアは高齢の方が多いため、次世代のボランティアの発掘を考えていく必要がある。また、今後の学校再編計画に伴って、体制の再編検討も必要である。

◆ 合川小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

本校では、活動組織を、学校教育活動の方向性や支援のあり方について委員全員で協議する全体協議会と、部会に分かれて協議する専門部で構成している。

今年度は特に、令和6年度から実施となる複式学級のあり方について意見交流を行う。

また、昨年度より年に1回中学校区で拡大学校運営協議会を実施している。

学校運営協議会での協議事項

第1回 令和5年5月15日実施

- ・学校経営の改革方針について
- ・学校運営協議会活動組織及び活動方針について
- ・5類感染症移行後の新型コロナウイルス感染症対策及び学校教育活動について
- ・今年度の学校行事について
- ・人権標語募集について
- ・コミュニティ・スクールについて

第2回 令和5年6月19日実施

「令和6年度2・3年生複式学級の設置について」

- ・合川小学校のめざす複式学級のあり方について（授業の形態、長所と短所、施設設備、今後の取組等について、3部会（学習支援部・環境部・安全部）に分かれて熟議、意見交流

第3回 令和5年10月5日実施（天栄中学校区拡大学校運営協議会）

- ・教育支援課加藤先生講演
「協働型コミュニティ・スクールの事例より」
- ・事例紹介、鈴鹿市の協働型コミュニティ・スクールのめざすところ
6グループに分かれて意見交流

第4回 令和5年10月26日実施（学校保健会）

- ・本校の児童の様子（健康診断結果、保健室利用状況、保健指導等）について
- ・学校薬剤師より
- ・令和5年度全国学力・学習状況調査結果と学力向上の取組について
- ・小規模特認校制度受付期間・学校見学について
- ・鈴鹿市教育大綱の見直しについて
- ・人権標語最優秀作品選定

第5回 令和5年12月11日実施

- ・児童アンケート・保護者アンケート結果について
- ・学校評価について
- ・両山、里地区の通学路について



第6回 令和6年2月13日

- ・複式学級の試行期間について
- ・学校関係者評価について
- ・今年度の反省・来年度の方向性について

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・PTA、自治会や地域住民による運動場や校舎周辺の除草だけでなく、ボランティアの方に学校敷地周りの斜面の除草や樹木の剪定までしていただき、環境整備をすることができた。
- ・人権標語の最優秀作品を看板にして校門前に設置したり、全児童の作品を校内や地域の掲示板に掲示したりして、子どもたちや地域住民に啓発することができた。
- ・通常時だけではなく、不審メール発出の際やイノシシやサルが出没した際などにも、子どもたちの安全な登下校のために見守りをさせていただいたおかげで、交通事故や不審者による被害がなく児童の安全安心につながった。
- ・赤丸ボランティアの方や、実技を伴う学習の際や町たんけん等の地域学習の際の学習支援ボランティアの方のご協力のおかげで、子どもたちの学習活動を充実させることができた。

(2) 課題

- ・登下校の見守りをさせていただくボランティアの方が高齢化している。保護者をはじめ、新しい方の協力を啓発していく必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	7	学生	0	33
地域住民	26	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（校外学習の付き添い、赤丸ボランティア 等）
- ・環境ボランティア（草刈り、樹木の剪定、学校周りの斜面除草 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り 等）



◆ 栄小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会のおもな取組

(1) 学校経営方針の承認

学校の課題を明確にしながら経営にあたる必要性や、様々な立場からご意見をいただき、児童への対応の仕方について協議した。

(2) 安心して通える学校についての協議

学校と家庭、地域から見える児童の様子や課題を交流し、誰もが安心できる学校生活を目指した学校の取組の充実について協議を行った。

(3) 児童の様子・学習環境についての協議

全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックの結果、児童アンケート・保護者アンケートの結果、いじめについてのアンケート結果等をもとに、成果や課題を検討した。

また、授業を参観し、その後の児童の学習活動や教員の指導の様子、教室等の環境について意見交換を行った。

(4) 学校保健委員会への参加

保護者・教職員・学校医・学校歯科医・学校運営協議会委員が参加し、2回にわたって開催した。第1回は、児童や家庭のメディアの課題について学校医による講演「スマホはどこまで脳をこわすか」、意見交流を行った。第2回は「健康は歯から口から笑顔から」をテーマに学校歯科医による講演と意見交流を行った。



2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学校の現状や課題について、共通理解をもち、それぞれの立場の視点から、改善していくための意見を交わすことができた。
- ・学校での学習や仲間づくりに関する課題等について、児童理解を深めながら協議することができた。
- ・メディアや基本的な生活習慣の課題を学校保健委員会で提案し、保護者・教職員と共に意見交流することができ、保護者への啓発につながった。

(2) 課題

- ・地域や保護者における学校運営協議会の理解を広めるため、会議の内容や取組などの情報発信を充実させる必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	20	学生	0	65
地域住民	45	その他	0	

2 主な活動内容

・安全安心ボランティア

磯山駅踏切、国道 23 号磯山駅前交差点・栄小学校西交差点等、様々な場所で交通安全活動（登下校の見守りも含む）を実施している。

・学習支援ボランティア

学校の要望に応じて、農業体験活動の講師や家庭科・図工の支援等の学習支援を行っている。令和 3 年度からは、宿題チェック作業のためのボランティアも毎日活動している。



・図書ボランティア

毎週木曜日に学年別の読み聞かせを行っている。また、定期的に図書室の本に係る掲示を作成している。6 年生には、絵本の実体験ができるアニメーション、他学年にはミニスペシャル読み聞かせを開催している。

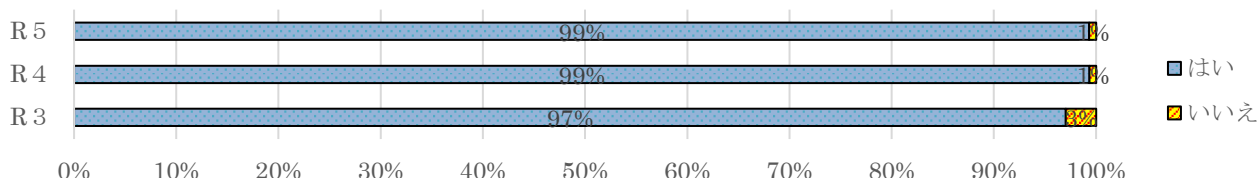


・環境ボランティア

環境ボランティアでは、学校花壇への季節の花植えを計画的に行っている。花壇の水やりや学習のための花や野菜の苗の提供もしている。



学校支援ボランティアさんが、登下校の見守りや環境整備、読み聞かせ、学習サポート等をしてくださっていることを知っていますか。



2 主な活動内容

学習支援ボランティア

- ・丸付け・校外学習の付き添い等授業支援や、米作り（田植え・稲刈り等）・さつまいも掘り・凧あげ・あられ炒り等体験学習の支援等様々な形で支援に入り、豊かな教育活動を支えていただいた。



環境ボランティア

- ・校庭等の草刈りや花壇の苗植え、学校菜園の整備等子どもたちの安心・安全な学びに向けた環境の整備を進めていただいた。



安全安心ボランティア

- ・PTA と連携し、毎日朝と下校時主要交差点で児童の登下校の見守りを行っている。また、交通安全教室実施の際にもボランティアとして支援していただいた。

図書ボランティア

- ・月曜日の「こおりやまタイム」（朝活動の時間）に「読み聞かせボランティア」による絵本の読み聞かせをしていただいている。また、平和学習やいのちの学習等様々なテーマに沿った読み聞かせも行っていた。さらに10月より、絵本サークルによる昼休みの読み聞かせも再開（月1回）し、子どもたちが本に親しむ機会の充実が図られた。また図書室の環境整備として、壁面飾り・POP等の作成、本の修繕等も行っていただいた。



◆ 鈴峰中学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

- ①地域、保護者、諸団体の代表者で組織され、教育活動への支援を中心として活動している。
- ②学校行事等を参観し、第三者の視点から活動における評価及び助言を行っている。本年度は、体育祭、壮行会、文化祭に参加した。
- ③校区人権フォーラムに参加し、児童・生徒の声を直接聞くことができた。また、テーマに沿った助言を児童・生徒に行うことができた。
- ④校区各小学校の学校運営協議会と連携、情報交換をすることで、地域の教育力の向上を図っている。



拡大学校運営協議会の様子



人権フォーラムの様子

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ①学校の取組を地域や諸団体等に広めることで、学校への協力を持続することができている。また、中学校区4小学校の学校運営協議会と連携して、拡大学校運営協議会を開催した。
- ②拡大学校運営協議会参加者からは、貴重な機会でも今後も継続を希望する声を聞くことができた。
- ③学校における教育活動に対し、第三者的な視点から評価及び助言をいただくことで、教育活動の改善につながっている。

(2) 課題

- ①少子高齢化に伴う地域人口の減少により、活動の維持が困難になりつつある。
- ②学校運営協議会委員は、自治会の役員や他の諸団体の役員等を兼任されている方もいて、学校運営協議会への定期的な参加が難しい方もいる。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	241	学生	0	249
地域住民	8	その他	0	

2 主な活動内容

- ①学習支援ボランティア
(学習における支援が必要な生徒に対してのサポート 等)
- ②環境ボランティア
(樹木剪定、除草作業、廃品回収 等)
- ③安全安心ボランティア (登下校の見守り、交通安全教育の支援 等)
- ④部活動支援ボランティア (部活動支援の補助 等)



学校の敷地に沿って
フェンス外側も、しっかり
除草を行いました。

◆ 深伊沢小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 PTA、地域、運営協議会、そして学校の FCE (Fukaizawa Community Event)

昨年度から再開した FCE。リスタートを機に、子どもたちの「6 年間」を踏まえたものにできるよう取組を見直した。テーマを「防災」→「生涯スポーツ」→「時節を鑑みた内容」とし、3 年でローテーションする形で計画をした。昨年度の SDGs を「時節」と見なし、今年は「防災」をテーマに据えた。防災は学校主体というよりむしろ地域が主体となつてこそ意義のある取組ができると考え、保護者、地域、そして学校運営協議会へも協力を仰ぎ、計画・準備を進めた。

PTA には「家庭でできる防災」として、非常持ち出し袋や防災クイズに取り組んでもらった。地域からは消防団の協力により、煙体験、水消火器訓練、放水実演、消防車乗車体験、避難シューター等を行うことができた。団員の中には児童の保護者や近所の人もいたようで、消防団がより一層身近な存在となったようである。また災害時を想定して炊き出し訓練も行った。地域コーディネーターを中心に計画・運営していただいた。さらに市防災危機管理課に防災講話や体験を交えた備蓄倉庫の中身の学習を行っていただいた。これらの各ブースには学校運営協議会のメンバーに関わっていただいた。そしてその日の午後に行った運営協議会で還流報告をすることにより、今回の成果やこれからの課題についても協議することができた。



《 段ボールベッド組み立て 》

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・授業参観やお芋掘り、運動会や FCE などの保護者・地域を巻き込んだ行事については、「開催した」ことが大きな成果と考えられる。特に FCE は今回の取組により、保護者や地域の関わり方を提示できたと考える。
- ・開催に至るまでの会議においては、委員長のリーダーシップのもと、「いかに安心安全を担保するか」という立ち位置から建設的な話し合いを行うことができた。

(2) 課題

- ・地域づくり協議会へも積極的な協力を呼び掛けることで、更に内容の充実を図ることができると考える。
- ・回覧板や広報などを計画的に活用し、地域へ呼びかけることで、保護者や関係者のみならず、広く地域からの参加も望めると考える。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	78	学生	0	169
地域住民	88	その他	3	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア
(プリント学習・学習の付き添い・クラブ)
- ・環境ボランティア (除草作業、落ち葉拾い、サツマイモ植え・収穫)
- ・安全安心ボランティア (登下校の見守り)
- ・図書ボランティア (読み聞かせ、本の修繕 等)

※今年度より、学習ボランティアの募集は「マチコミ」の「イベント募集」を活用している。確実に届くことと、把握が容易であることから有効性を感じている。また、さまざまなボランティアの依頼をすることができた。ただ、登録の必要があり、裾野を広げる活動が今度の課題である。



《 豆腐作りのサポート 》

◆ 庄内小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

コロナ禍が一段落し、以前と同じようにできることと、変化させたままにしていくことなど、どのように取り組むかを考える選択肢が増えた。その中で、学校運営協議会では、学校と保護者、地域が連携してどのような取組ができるか考えたり、また、行事や授業の参観を通して、感想や意見をいただいたりして、教育活動に反映させることができた。

(1) 地域の安全面の強化

地域の危険箇所について意見をいただき、PTA と連携して、新たな場所に「とびだしっ子」の看板の設置を行った。

(2) 環境整備

草刈り、樹木の剪定・修復、運動場の整地・側溝の掃除等、子どもたちが安全に楽しく過ごすことのできる学校環境にするために、様々な作業で力を貸していただいた。

(3) 学校運営協議会と教員が話し合う場を持つ

前年度の協議会でいただいた「先生方と話し合う場を持ちたい」という声を受けて、第3回の協議会を夏休みに設定し、2つのグループに分かれて話し合いを行った。各学年の取組を紹介し、委員の方々からの質問に答える形で、和気あいあいとした雰囲気での意見交流を行った。



(4) 学校運営協議会での熟議内容を発信する

協議会で熟議した内容を、学校通信やHPで保護者、地域に発信し、啓発を行った。

2 取組の成果や課題（協議会での感想・意見より）

(1) 成果

- ・昨年まで人数制限があった行事も、開催方法を考えながら、地域の方にはたくさん参加してもらいよかった。今後も地域とのかかわりを大切にしていきたい。
- ・地域性から「地域が学校を守る」という視点で、これからも地域住民による環境整備を継続していきたい。
- ・通学路の安全確保では、PTAや民生委員、ボランティアの協力により、

安全標識の移設など、地域ぐるみで協力いただき、感謝している。

- ・毎朝通学路に立っていただいている安全安心ボランティアの方からの指摘に対して、学校は行政と連携して素早く対応できている。
- ・夏休みを利用した庄内小職員と学校運営協議会委員との意見交流会では、学校の様子や取り組んでいることなどが話された。今後も、積極的に意思疎通を図るようにしていただきたい。
- ・地域との関係や連携は、庄内小ならではのよさであり、とてもいい交流をしていると思う。その分、職員の負担や授業への影響も考えられるので、無理のないように相談して地域に振ってもらい、今後も続けてほしい。

(2) 課題

- ・「学校だより」で、ボランティア募集を募っていただくことを引き続きお願いしたい。(例えば、〇月〇日に学習ボランティア募集しますとかクラブ活動など)
- ・通学路の見守りやボランティアなどで、保護者の協力をもう少し得られるとよいと思う。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	4	学生	1	4 2
地域住民	3 7	その他	0	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け、ミシン、昔の遊び・昔のくらし）
- ・環境整備ボランティア（草刈り・枝払い等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
- ・クラブ支援ボランティア（グランドゴルフクラブの指導）
- ・読み聞かせボランティア（朝の読書の時間の読み聞かせ）
- ・図書館整備ボランティア（図書館掲示の製作と展示）



学習支援ボランティア
(丸付け)



学習支援ボランティア
(昔のくらし)



図書館整備ボランティア



クラブボランティア

◆ 椿小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会の取組

(1) 椿っ子見守り隊の取組

学校で登下校のボランティアを募集し、通学路の危険箇所や集合場所での見守り活動を行っている。校区内にある新名神高速道路のスマートインターへ出入りする車や、新たな工業団地の開発に伴う工事車両など、交通量も多く交通事故の危険性が高い。

学校運営協議会でも話し合いを持ち、通学路への横断歩道や標識、信号の設置などについて働きかけることで合意した。

その他に、「8・3運動」の取組について話し合い、保護者や地域へも周知し、取り組んでいる。



(2) 授業参観の取組



学校を支援し、子どもたちの学校生活を充実したものにしていくためには、実際の子どもの様子を把握していただく必要がある。そのために、学校運営協議会委員の方に普段の授業の様子を参観していただく機会を設け、現状を見ていただく取組を行っている。参観の後は意見交換を行い、今後の指導について助言をいただいている。

(3) 学習ボランティアの取組

本年度も、学習ボランティアの方に学校へ来ていただいた。椿タイム（教育課程外の時間を活用した算数科の補充学習）や、行事での衣装作成、校外学習の引率、調理実習、裁縫などでボランティアが必要な場合は、地域コーディネーターの方に連絡を取り、ボランティアの方を派遣していただいている。

(4) 学校行事への参観

椿小学校では、例年、英語学習の成果発表の場として「椿ワールド」を行っている。学校運営協議会の方にも参加していただき、学校の取組を見学していただいた。また、その後に協議会を開催し、取組についての意見交換を行った。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・見守り隊員による、青パトの巡回や登下校時の安全指導が、児童の安全につながった。
- ・授業参観や椿ワールド等の学校行事を参観していただく中で、子どもた

ちの様子を把握してもらったことが、具体的な意見交換につながった。
また、いただいた意見は学校関係者評価にも反映できた。

- ・ボランティアの方に学校に来ていただき、支援を受けることで、児童の学力の向上につながった。

(2) 課題

- ・児童数の減少により一人で下校する児童もあり、下校時の見守りも検討する必要がある。
- ・携帯やゲーム、インターネット等でのスクリーンタイムの増加など、新たな課題も出てきている。家庭の教育力向上も含めて、今後どう取り組んでいくか検討する必要がある。
- ・ボランティアを継続してくださっていた方々の高齢化がみられ、今後いかに次の世代へと引き継いでいくか検討する必要がある。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	10	学生	0	73
地域住民	60	その他	3	

2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け、校外学習の付き添い、行事での衣装作成等）
- ・環境ボランティア（草刈り、備品等の修繕 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通安全教室の支援、マラソン大会見守り 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ、図書館環境整備 等）
- ・クラブボランティア（茶道クラブ・折り紙クラブ）

◆ 鈴西小学校

I コミュニティ・スクールの実践について

1 学校運営協議会が今年度取り組んできた協議と特色ある取組

(1) 学力・学習についての検討

①異年齢集団による縦割り学習を実際に参観していただいた。

「子ども同士がかかわり方を学んだり、上級生にとっては下級生にわかりやすく説明するために思考を巡らせたりする等、非認知能力の育成にもつながる要素を含んだ取組であり、継続してほしい」との意見をいただいた。

②日々の授業について、児童も保護者も「わかる授業」や「考える授業」についてのアンケート項目の評価が低いとの指摘があった。「興味をもって学習に取り組み、考え合う授業づくりをお願いしたい」との意見をいただいた。

(2) 読書活動についての検討

①児童が本に触れるきっかけ作りとして、「国語の教科書に掲載されている読書のページを活用し、単元学習を発展しての読書に取り組むとよいのでは」「子どもたちに面白い本をたくさん紹介してほしい」という意見をいただいた。

②家庭での読書習慣を身につけるために、「保護者も家で児童と共に本を読む時間を作る等の啓発を行ってはどうか」との意見をいただいた。

(3) その他

①あいさつについて、「多くの子どもたちがあいさつができています」と評価していただいた。「今後も家庭、地域、学校で取り組んでいきたい」との意見をいただいた。

③地域連携について、保護者、学校、地域が一体となって子どもの育成をしていくことの大切さを確認し、そのためにも「地域行事を大切にしていきたい」との意見をいただいた。

④コロナ禍で自粛していた学習ボランティア、読書ボランティアを再発足した。「祖父母世代の方にも協力してもらえるようにし、ボランティアに参加してもらえる時間・人数を確保してはどうか」との意見をいただいた。

⑤長欠減少について、単学級なので卒業するまでクラス替えもなく、たくさんの子どもの中で揉まれる経験が少ないことや、中学校に進学したり他所へ行ったりしたときのギャップが大きいことへの配慮として「いろいろな学校との交流機会が必要なのではないか」との意見をいただいた。

2 取組の成果や課題

(1) 成果

- ・学習ボランティアや読書ボランティアが再発足し、さまざまな学習の場面で協力してもらい、学習効果を高めることができた。
- ・委員のみなさまより、さまざまな角度から学校運営についての意見をいただくことができた。



(2) 課題

- ・保護者、地域、学校が協働し児童の育成をしていくことについてや、学校間交流などについて、継続して検討していく。
- ・学校からの報告に終始せず、学校の課題を話し合っていくことで協働型コミュニティ・スクールの構築を目指していく。

Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	98	学生	0	246
地域住民	110	その他	38	

2 主な活動内容

(1) 学習支援ボランティア

- ・校外学習の付き添い（校区探検）
- ・生活科の体験学習の支援（サツマイモの苗植え、芋掘り、焼き芋、凧揚げ等）
- ・地域学習の講師や体験補助（総合的な学習の時間）
- ・実習補助（家庭科調理・裁縫、図工電動糸鋸、水泳の見守り等）



(2) 環境ボランティア

- ・学校敷地内、図書室の整備



(3) 安全安心ボランティア

- ・登下校の見守り
- ・引き渡し訓練の支援

(4) 図書ボランティア

- ・読み聞かせ（毎月第2、4木曜日に実施）

